

KENWOOD

ポータブルMDレコーダー

DMC-L7R

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の
通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は国内専用モデルですので、本機のACアダプターを外国
で使用することはできません。

Precaution for use

This unit is designed for domestic use only, and it is
very dangerous to use the attached AC adaptor abroad.
Never use it out of Japan.

株式会社 ケンウッド

KENWOOD CORPORATION



電源について

本機の外部電源は、付属のACアダプター、乾電池
ケース、および別売の専用カーバッテリーアダプ
ター以外は使用しないでください。

ENGLISH OPERATION MANUAL Page 82

TINSJ1835AFZZ

おもな特長

●小型・薄型設計

MDジャケットサイズで薄型のため、ポケットにも収まりやすく携帯するのにとても便利です。

●リチウムイオン充電電池採用の長時間連続再生・連続録音

リチウムイオン充電電池のため、安心してつき足し充電ができます。付属充電電池で約14.5時間連続再生、約9.5時間連続録音が可能です。さらに、単3アルカリ乾電池との併用で、約26時間連続再生、約14時間連続録音も可能です。

●充電スタンド

携帯電話感覚の置くだけで簡単に充電ができる、充電スタンドを付属しています。

●デジタル録音レベルコントロール

デジタル録音するときでも、アナログ録音するときのように、お好みの録音レベルに調整できます。

●フェードイン・フェードアウト録音

音楽ミキサーのように、録音レベルを少しずつ上げながら録音を開始したり、少しずつ下げながら録音を終了することができます。

お使いになる前に

安全に正しく	
お使いいただくために ...	4
付属品を確認する	12
取扱説明書の見かた	13
各部のなまえ	14
電源について	18
■ 充電する(充電機で使う) ...	18
■ ACアダプターで使う	20
■ 充電機と乾電池を併用して使う	21
■ カー電源アダプターで使う ...	21

MDに録音する

MDを入れる	22
録音する前に	23
オーディオ機器から録音する ...	24
マイクから録音する	26
録音を止める	28
モノラルで	
長時間録音をする	29
録音の残り時間を確かめる	29
フェードインで録音を開始する ...	30
フェードアウトで録音を終了する ...	31
オーディオ機器から録音するときの	
曲番について	32
マイクから録音するときの	
曲番について	34
曲の途中から録音する ...	36
デジタル録音とアナログ録音について ...	37

MDを聞く

MDを聞く	38
聞きたい曲を選ぶ	41
ランダム・リピート再生をする	42
2倍速早聞き再生をする ...	43

MDを編集する

ディスクや曲に名前をつける	44
曲を移動する	49
1曲ずつ曲を消す	50
すべての曲を消す	51
1つの曲を2つに分ける ...	52
2つの曲を1つにつなぐ ...	53
文字情報をスタンプする ...	54

便利な使いかた

電池残量を確認する	56
表示内容を確認する	58
いろいろな設定を変える ...	60
他の機器と接続して使う	62
誤動作を防止する	64

ご参考に

TOCについて	65
「故障かな?」と思ったら	66
こんな表示がでたら	68
MDのシステム上の制約	70
MDについて	71
音楽著作権について	72
充電機について	73
仕様	74
別売品について	75
保証とアフターサービス	76
ケンウッドサービス網	78
お手入れについて	81

お使いになる前に

MDに録音する

MDを聞く

MDを編集する

便利な使いかた

ご参考に

安全に正しくお使いいただくために

ご使用の前に

お
使
い
に
な
る
前
に

■絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。その表示を無視し、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



危険

人が死亡または重傷を負う恐れが高い内容を示しています。



警告

人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。



注意

けがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

■絵表示の意味



この記号は
してはいけない
ことを表しています。



この記号は
しなければならない
ことを表しています。



この記号は
気をつける必要がある
ことを表しています。

⚠ 危険

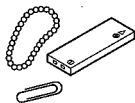
充電電池の取り扱いについて

漏液・発熱・発火・破裂などを避けるため、必ず次のことを守ってください。

火の中へ入れたり、分解・加熱しない。

ショートさせない。

(ネックレスやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯・保管すると、ショートすることがあります。)



釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、ハンダ付しない。

充電電池に貼ってあるビニールをはがしたり、傷つけない。

本体以外では充電しない。

火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・放置をしない。

付属の充電電池は、本機以外には使用しない。



充電電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐにきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

目に傷害を与える恐れがあります。

！ 警告

お使いになる前に

事故防止のために

事故を防ぐために、次のことを守ってください。

自動車やバイク、自転車などの運転中は、
ヘッドホンを絶対に使わない。



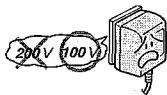
歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、
音量を上げすぎない。
特に、踏切や横断歩道などでは、十分に
気をつけてください。



指定以外の電圧では使用しない



ACアダプターは、AC 100V 以外の
電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



指定以外のものは使用しない

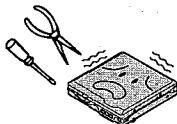


指定以外のACアダプターや充電スタンド、カー電源アダプター
などを使用すると、火災・事故の原因となります。

キャビネットは絶対に開けない



分解・改造はしないでください。
火災・感電・けがの原因となります。
内部の点検・調整・修理は、販売店に
ご依頼ください。



雷が鳴りだしたら



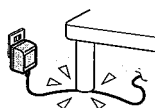
安全のため、早めにACアダプターをコンセントから抜いて
ください。
雷によっては、火災・感電・故障の原因となります。

ACアダプターの取り扱いについて

火災・感電による事故を防ぐために、次のことを守ってください。



コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、加工したりしない。
また、重い物を乗せたり、加熱したり、引っぱったりすると、コードが破損します。



タコ足配線はしない。



コードが傷ついたときは（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。



内部に物や水などを入れない

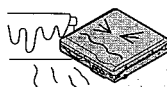
火災・感電を避けるために、次のことを守ってください。



MDの挿入口などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込まない。



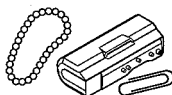
風呂場や雨にあたる所、湿気の多い所では使用しない。



乾電池ケースの取り扱いについて



乾電池ケースを携帯・保管するときは、乾電池を入れたままの状態でネックレスやヘアピンなどの金属類と一緒にしないでください。
ショートすることがあります。



⚠ 警告

お使いになる前に

充電池の取り扱いについて

充電の際に所定の充電時間をこえても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。
発熱・破裂・発火の原因となります。



充電池が漏液したり、異臭がするときには、直ちに火気より遠ざけてください。
漏液した電解液に引火し、発火・破裂する原因となります。

充電池の使用途中や充電中、保管時に異臭を感じたり、発熱したり、変色・変形など、その他今までと異なることに気がついたときには、本体から取り出し、使用しないでください。

異常が起きたら

次のようなときは、ACアダプターをコンセントから抜き、充電池などをはずしてから販売店に修理を依頼してください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入ったとき

本機を落としたり、衝撃を与えたり、キャビネットを破損したとき

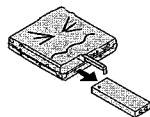
（特に充電池ボタンが破損したり、はずれた場合、フタをつけずに使用しないでください。）



ACアダプターや充電スタンド、充電池などが破損したとき

動作がおかしくなったとき

異常な音が出たり、煙が出たり、
変な臭いがするとき



注意

ACアダプターの取り扱いについて

火災・感電を防ぐために、次の点に注意してください。



ACアダプターを抜くときは、
コードを引っばらない。
コードが傷つくことがあります。



濡れた手でACアダプターを抜き差ししない。



コードを熱器具に近づけないでください。
コードの被覆がとけることがあります。



コンセントへの差し込みがゆるくぐらついていたり、プラグ
やコードが熱いときは、使用を中止してください。

布や布団でおおったり、つつんだりしないでください。
熱がこもり、ケースが変形することがあります。

音量に気をつけて



ヘッドホンで聞くときは、音量の設定に十分気をつけてください。
思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因となることがあります。
また、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

本体に長時間触れない



使用中はあたたかくなりますので、直接肌に触れたままで
長時間使用しないでください。
やけどの原因となることがあります。

お手入れのときは



安全のため、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
感電やけがの原因となることがあります。

安全に正しくお使いいただくために（続き）

⚠ 注意

お使いになる前に

置き場所・使用場所について

火災・事故・けが・故障などの原因となることがありますので、次のような所で使用・放置しないでください。

ぐらついた台の上や傾いた所。
不安定な所。



調理台や加湿機のそばなど油煙や湯気が当たるような所。
極端に寒い所や火気の近く。



直射日光が長時間あたる所（特に密閉した自動車内）や、暖房器具の近く。
（キャビネットが変形・変色することがあります。）



ホコリの多い所。
海辺や砂地など内部に砂の入りやすい所。



ズボンなどの後ろのポケットに入れて座ったり、満員電車などで製品に大きな力加わるような所。

充電電池の取り扱いについて

充電電池は誤った使いかたをしますと、発熱・破裂・発火・破損・充電電池の性能や寿命を低下させる原因となることがあります。次の点に特に注意してください。



強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない。

直射日光の強い所や炎天下の車内など、高温の場所で使用したり、放置しない。



水や海水などにつけたり、濡らさない。



充電電池が漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合には、すぐにきれいな水で洗い流してください。
皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。



充電電池の充電温度範囲は、5℃～35℃です。
この温度範囲以外で充電しないでください。

乾電池の取り扱いについて

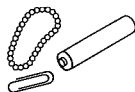
乾電池は誤った使いかたをしますと、感電・破裂・発火の原因となることがあります。次の点に特に注意してください。

充電しない。



ショートさせない。

金属小物（かぎ・ネックレス・コイン等）といっしょにポケットやかばんなどに入れない。



水に濡らしたり、加熱したり、火の中へは投げ込まない。

分解しない。



乾電池が使えなくなったり、長期間使わないときは、乾電池ケースから取り出してください。液もれをして機器を腐食させたり、手や衣類などを汚す原因となります。

（液がもれた場合は、乾電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。）



プラス（+）とマイナス（-）の向きを表示どおり正しく入れる。

長期間ご使用にならないとき

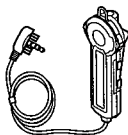


安全のため、必ずACアダプターをコンセントから抜き、充電池などをはずしてください。

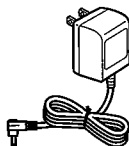
- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのケンウッド営業所、サービスセンターまでご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

付属品を確認する

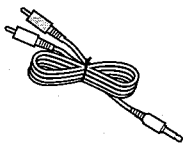
お使いになる前に



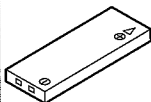
液晶リモコン×1



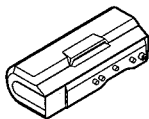
ACアダプター×1



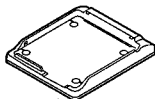
接続コード×1



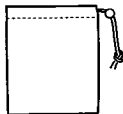
充電電池×1



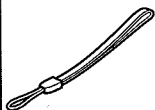
乾電池ケース×1



充電スタンド×1



キャリングケース×1



ハンドストラップ×1



ヘッドホン×1
(インピーダンス32Ω)

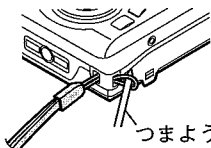


取扱説明書×1

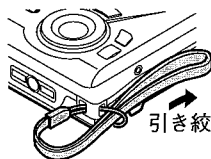


保証書×1

ハンドストラップ
の付けた



つまようじなど
ハンドストラップ



引き絞る

取扱説明書の見かた

お使いになる前に

この取扱説明書に使われているマークについて

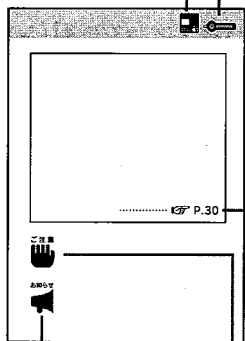


本体側で操作することを表します。



リモコン側で操作することを表します。

(この取扱説明書は本体側の操作手順で説明していますが、本体とリモコンのマークが両方ある場合は、リモコンでも同じように操作できます。)



P.30 (例)

くわしく説明したページがあるときに、このマークで示しています。

ご注意



この製品を取り扱ううえでの注意事項を表します。

お知らせ



知っておいていただきたい、補足説明を表します。

お知らせ

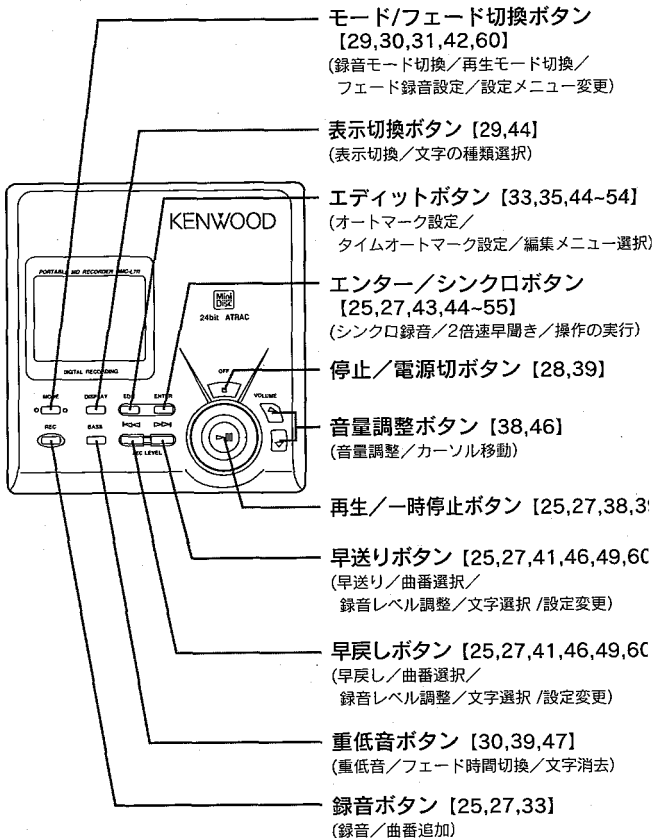


- カタログおよび包装箱に表示されている形名の最後のアルファベットは製品の色を示す記号です。色は異なっても、操作方法や仕様は同じです。
- この製品は、ドルビーラボラトリーズ ライセンシング コーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。
- ACアダプターの形は、イラストと異なることがあります。

各部のなまえ

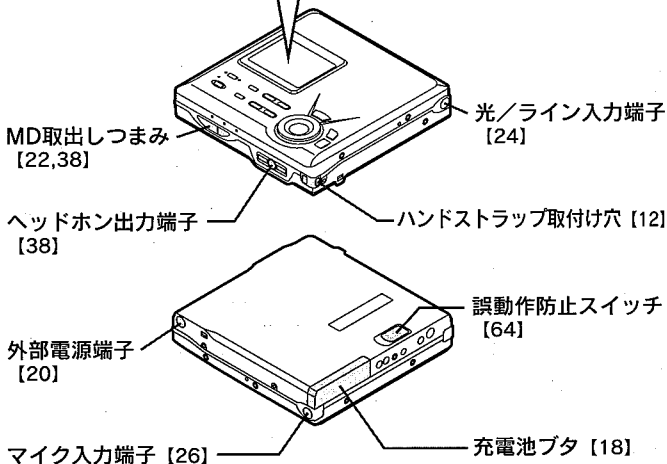
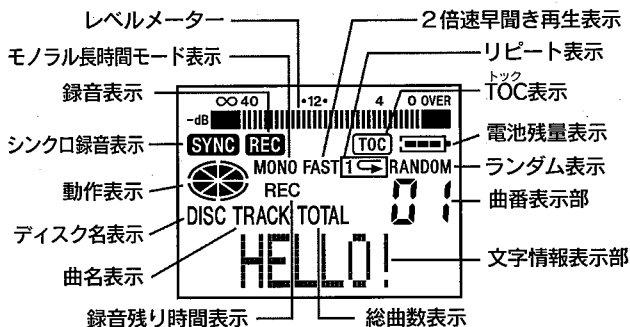
本 体

お
使
い
に
な
る
前
に



- 【 】内はおもに説明しているページを、()内はおもな機能を表しています。
- ボタンを操作すると、リモコンの表示部に約10秒間照明がつきます。

表示部



リモコン

お使いになる前に

シャトルの使いかた



押すと……再生を始めたり、一時停止するときに
(再生/一時停止) 使います。 [39]



左に回すと……曲の早送りや頭出しをするときに
(早送り/曲番選択/設定変更) 使います。また、曲を選ぶときや各設定を変更するときにも使います。
[41,59,60]

再生中に回したままにすると、早送りになります。 [41]

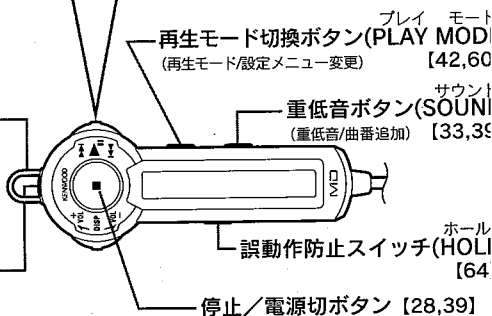


右に回すと……曲の早戻しや頭出しをするときに
(早戻し/曲番選択/設定変更) 使います。また、曲を選ぶときや各設定を変更するときにも使います。
[41,59,60]

再生中に回したままにすると、早戻しになります。 [41]

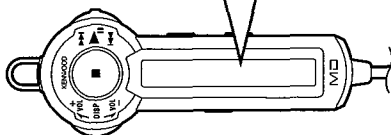
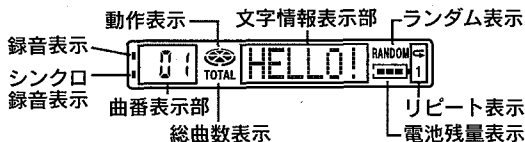
取付けリング
ハンドストラップや
キーホルダーなどを
取り付けてお使いに
なれます。

ヘッドホン端子
[38]

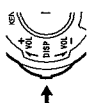


- 【 】内はおもに説明しているページを、()内はおもな機能を表しています。
- シャトルやボタンを操作すると、リモコンの表示部に約10秒間照明がつきます。

表示部



シャトルの使いかた



押すと……表示内容を変えるときに使います。
(表示切換) [59]

録音中：経過時間・録音残り時間
再生中：曲名・経過時間・残り時間
停止中：ディスク名・録音残り時間・
総再生時間・各曲の再生時間



左に回すと…音が大きくなります。
(音量調整) [38]



右に回すと…音が小さくなります。
(音量調整) [38]

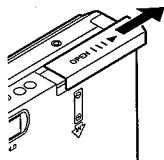
電源について

■ 充電する（充電電池で使う）

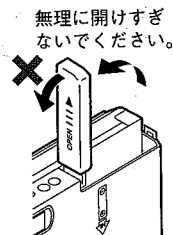
お使いになる前に

お買いあげ時は、充電電池は完全に充電されていません。
次の手順で充電してください。

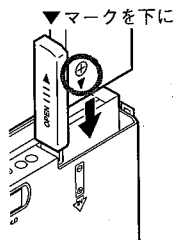
1 充電電池を入れる。



矢印の方向に
ずらす。

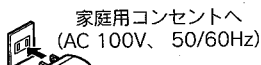


ふたを開ける。

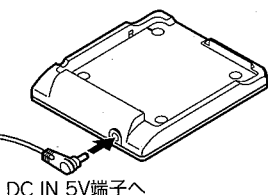


充電電池を入れ、
ふたを閉める。

2 充電スタンドに、ACアダプターをつなぐ。



家庭用コンセントへ
(AC 100V、50/60Hz)



DC IN 5V端子へ

ご注意

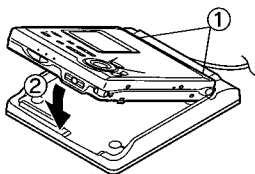


- 充電電池のビニールは、はがさないでご使用ください。
発熱・発火・破裂などの原因となります。
- 充電端子はピンなどの異物でショート（短絡）させないでください。





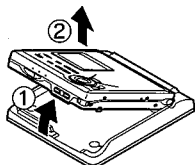
3 本体を充電スタンドに置く。



うしろのツメの部分を含ませたあと、確実に置いてください。

- 約4秒後に “” が点滅し、充電が始まります。
約4時間すると充電が完了し、“” が消えます。

充電スタンドから取りはずすには

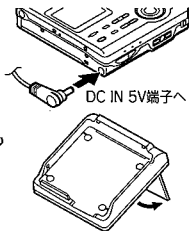


- 充電スタンドを軽く手で押さえて、本体の手前を先に持ち上げます。

お知らせ



- 各プラグは最後まで確実に差し込んでください。
- 本体を充電スタンドに置いたとき “” が点滅しない場合は、すでに充電が完了しています。
- この製品は、0℃～40℃の場所でお使いください。
(ただし、充電は5℃～35℃の範囲で行ってください。)
- ACアダプターを本体(DC IN 5V端子)に直接つないでも充電することができます。
(この場合は、約3時間で充電できます。)
- 充電スタンドは、斜めにおくすこともできます。



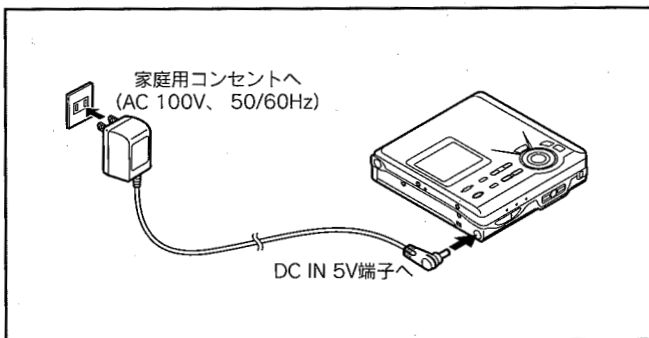
ご注意



- 充電スタンドは屋内用です。
車載用として使用しないでください。

■ ACアダプターで使う

充電が入っていないなくても使用できますが、充電が入っていると、動作中でも充電できます。（フローティング充電）



お知らせ



- 録音するときは、ACアダプターでを使用することをおすすめします。このとき、充電済みの充電電池を入れておけば、万停電になっても、電源は自動的に充電電池に切り換わります。
- 充電電池が入っていない状態で、ACアダプターのプラグをつないだり、本体を充電スタンドに置いたりすると、自動的に再生が始まる場合があります。電源の切り忘れに注意してください。

ご注意



- ACアダプターや充電スタンドを長時間ご使用にならないとは、安全のため、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。

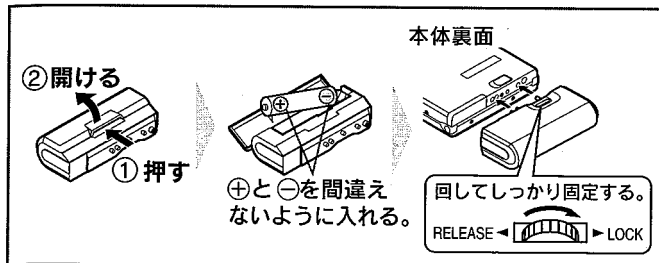


■ 充電電池と乾電池を併用して使う

充電電池と乾電池を併用すると、さらに長時間使用できます。
また、充電電池が消耗しても、補助電源として使用することができます。

- このとき、充電電池は取り出さないでください。
- 乾電池は、別売の単3形アルカリ乾電池（LR6）を使用してください。

お
使
い
に
な
る
前
に



お知らせ



- 充電電池が完全に消耗していると、乾電池ケースを取り付けてもすぐに動作しないことがあります。
- 充電電池や乾電池を使って録音するときは、ヘッドホンの音量を“0”にしておけば、電池の消耗が少なくなります。

ご注意



- 乾電池ケースには、充電電池（ニカド電池等）を使用しないでください。
- 充電電池と乾電池を併用しているときに、どちらか一方を取り出さないでください。
録音や再生が止まることがあります。
- 長時間ご使用にならないときは、電池をはずしてください。
（電源が切れていても、わずかですが電池が消耗しています。）

■ カー電源アダプターで使う

くわしくは、別売のカー電源アダプター（DC-C70）の取扱説明書を
ごらんください。

ご注意

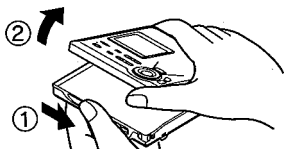


- カー電源アダプターで使用するときは、充電電池を取り出し
ておいてください。
- 指定以外のカー電源アダプターを使用しないでください。

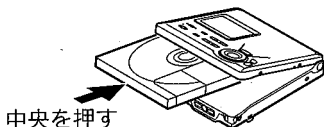
MDを入れる



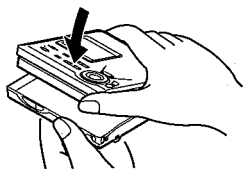
- 1** オープン OPENつまみを動かし、ディスクホルダーを開ける。



- 2** MDを入れる。



- 3** ディスクホルダーを閉める。



ご注意



- MDを入れるときは、無理に押し込まないでください。故障の原因となります。入りにくいときは、一度MDを取り出し、再度入れ直してください。
- MDを取り出すときは、電源を切ったあとに行ってください。
TOC トック エディット や “TOC EDIT!” を表示中は、ディスクホルダーがロックされ、開けることはできません。
無理にオープンOPENつまみを動かすと、故障の原因となります。
- ディスクホルダーを無理に開けないでください。故障の原因となります。
- ディスクホルダーが確実に閉まらないときは、一度ディスクホルダーを開けて、やり直してください。

録音する前に

試し録音について

- 大切な録音（講演会、旅行など）をする前に、あらかじめ試し録音をして、正常に録音されることを確かめてください。
- 本機を使用中に、万一この製品の不具合により、録音されなかったときの内容の補償については、ご容赦ください。

音楽著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。P.72

シンクロ録音とマニュアル録音について

- シンクロ録音とは、接続した機器の音を検知して、自動的に録音を開始したり、一時停止することです。
- マニュアル録音とは、ご自分の好きなタイミングで操作して、録音や一時停止することです。
- シンクロ録音の場合、オーディオ機器からの再生信号やマイクからの音声信号によっては、正確な位置で録音開始や一時停止しないことがあります。このようなときは、マニュアル録音を行ってください。

MDの種類について

再生専用 MDとは

市販の音楽ソフトはこのタイプです。録音や編集はできません。



シャッターが片面（裏面）にあります。

録音・再生用 MDとは

録音もできる「生ディスク」です。くり返して録音することができます。



シャッターが両面にあります。

誤消去防止ツマミについて

矢印の方向に動かすと、録音した内容を誤って消すことが防げます。

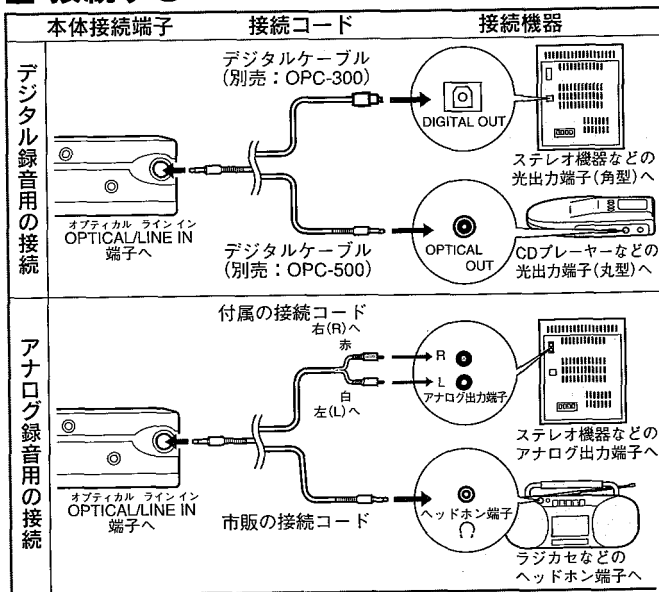


誤消去防止ツマミ

- 録音や編集はできなくなります。
- 再び、録音や編集をするときは、誤消去防止ツマミをもとに戻します。（裏面の穴を閉じる）

オーディオ機器から録音する

■ 接続する



お知らせ



接続する機器の設定について

- 接続する機器によっては、再生状態にしないと、光出力が出ないものがあります。
そのような機器では、録音を開始するとき、Ⓜを押しても動作しません。あらかじめ再生の待機状態にしてください。
- ポータブルCDやMDプレーヤーなどから録音するとき(充電電池や乾電池の電源で使用中)は、光出力が出ないものがあります。そのときは、AC電源を使用してください。
また、音とびを防ぐ機能がついている機器では、そのスイッチを“切”にしておいてください。

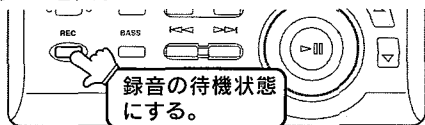
音量や低音の設定について

- 録音中に音量を調整しても、録音には影響ありません。
- 録音中には低音の調整はできません。

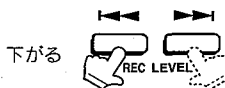


■ 録音する

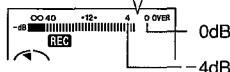
1 録音用MDを入れて…



2 接続した機器を再生して、録音レベルを調整する。



最も大きなレベルのとき、
-4dBから0dBの間に振れるようにします



デジタル録音レベルコントロールについて

この製品は、デジタル録音でもアナログ録音と同じように、録音レベルの調整ができます。

- +12~-12dBの範囲で、1dBごとの調整ができます。
- CDからのデジタル録音のときは、通常は“D.L 0dB”に、CSチューナーなどからのデジタル録音のときは、“D.L +8dB”を目安に設定します。
- デジタル録音レベルを一度調整すると、設定内容は録音を停止しても記憶されます。（設定を解除するには P.60）

3 接続した機器を、再生の待機状態にする。 （録音したい曲の頭出しをしておく。）

4 シンクロ録音するとき

ENTER



録音の待機状態



接続した機器を再生すると、自動的に録音が始まります。

マニュアル録音するとき



録音開始

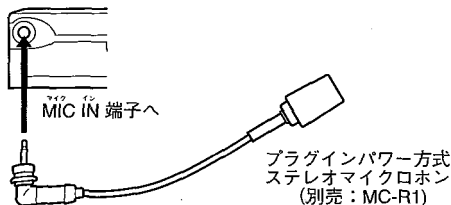


接続した機器の再生を開始します。

マイクから録音する

■ 接続する

MDに録音する



接続するマイクについて

別売品以外のマイクを使うときは、必ず、プラグインパワー方式に対応したものをご使用ください。

- プラグインパワー方式に対応していないマイクを接続すると、正しく動作しなかったり、故障の原因となります。

プラグインパワー方式に対応したマイクとは

マイクには、動作用の電源を必要とするものと、必要としないものがあります。電源を必要とするマイクの中には、電池を内蔵するものと、本体から電源が供給されるものがあります。本体から電源が供給されることによって動作するマイクを、プラグインパワー方式対応のマイクと言います。

接続時のご注意

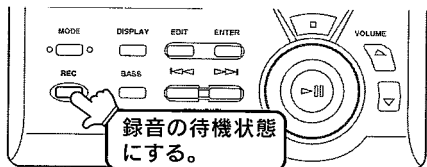
- 各プラグは最後まで確実に差し込んでください。
接触不良などにより、正しく録音できないことがあります。
- プラグはいつもきれいにしておいてください。
プラグが汚れていると、雑音が出ることがあります。
- マイクから録音するときは、OPTICAL/LINE IN 端子には何も接続しないでください。



■ 録音する

MDに録音する

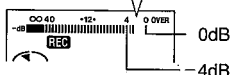
1 録音用MDを入れて…



2 マイクから音声が入っているときに、録音レベルを調整する。



最も大きなレベルのとき、
-4dBから0dBの間に振れるようにします



3 シンクロ録音するとき



押すたびに、録音の感度が切り換わります。



マイクから音声が入ると、自動的に録音が始まります。

マニュアル録音するとき



録音開始

マイク シンクロ
MIC SYNC H : -24dBをこえると
(小さな音でも録音開始) 録音を開始します。



マイク シンクロ
MIC SYNC L : -12dBをこえると
(ある程度大きな音で 録音を開始) 録音を開始します。

お知らせ



- シンクロ録音するとき、雑音などで録音が始まるときは、
録音の感度を“MIC SYNC L”に設定してください。
- 録音の感度は、録音中でも切り換えできます。
- 録音レベル表示が“MIC H 21”から“MIC L 20”の間で
切り換わるとき、音が一瞬とぎれますが故障ではありません。

録音を止める



録音を一時停止するには

シンクロ録音のとき…

- オーディオ機器から録音しているときは、接続した機器を停止すると一時停止になります。再び再生すると、続けて録音できます。
- オーディオ機器やマイクからの無音状態が3秒以上続くと自動的に一時停止になります。(録音開始後、約10秒間は一時停止しません。)再び音声が入ると、自動的に録音が始まります。

マニュアル録音のとき…



- 録音の待機状態になります。
- もう一度押すと、録音が始まります。このとき、曲番が1つ増えます。

録音を停止するには



電源を切るには

停止中に…



- TOCを記録したあと、電源が切れます。(TOCについて P.65)
- 停止後そのままにしておくと、約2分後に電源が自動的に切れます。

ご注意 ● 録音中や録音を止めたあとの“^{トック エディット}TOC EDIT!” (P.65) 表示中は、本体に衝撃を与えないでください。正しく録音や記録ができないことがあります。

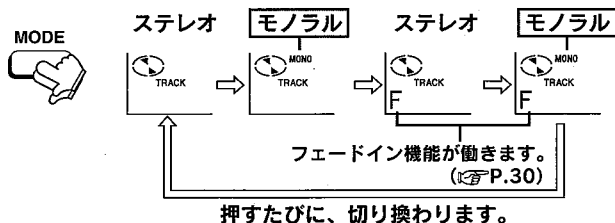


モノラルで長時間録音をする



ステレオモードの約2倍の時間が録音できます。(モノラル長時間モード)
会議や講演会などを録音するときに便利です。

録音の待機中に「モノラル」を選ぶ。



- 録音を停止すると、ステレオモードに戻ります。

- 入力がステレオでも、右チャンネルと左チャンネルの音がミックスされて録音されます。(モノラル録音)
- 録音中、ヘッドホンから聞こえるモニター音はステレオですが、録音されている音はモノラルです。
- モノラル長時間モードで録音すると、通常再生の2倍の早さで聞かことができます。(2倍速早聞き再生 P.43)
- モノラル長時間モードに対応していないMDプレーヤーでは再生できません。

録音の残り時間を確かめる



録音前や録音中に、録音できる残り時間を確かめることができます。

録音の待機中または録音中に…

DISPLAY



-53:24

(録音できる残り時間)

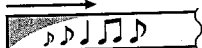
- もう一度押すと、もとに戻ります。
- 表示された残り時間は、実際の残り時間と多少異なることがあります。(P.70)

フェードインで録音を開始する

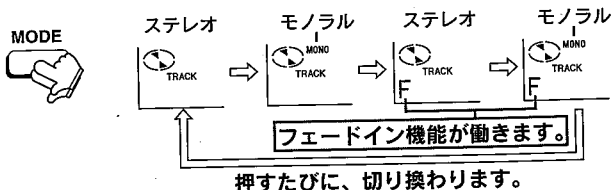


録音レベルを少しずつ上げながら、録音を開始することができます。

フェードイン



1 録音待機中に「フェードイン」を選ぶ。



2 フェードインを選んだあと…

- フェードインしながら録音が開始されます。



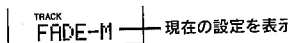
(フェードイン中は点滅)

- **ENTER**を押して録音を開始したときは、フェードインになりません。
- 録音を停止するとフェードイン機能は解除され、通常のスtereoモードに戻ります。

フェード時間を変更するには

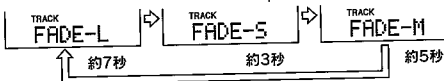
1. 録音待機中に…

BASSを押す。



2. 現在の設定を表示中に…

BASSを押す。



押すたびに、切り換わります。
(お買い上げ時は「5秒」)

- 設定した時間は、フェードイン/フェードアウト/自動フェードアウトのフェード時間に共通です。

フェードアウトで録音を終了する



録音レベルを少しずつ下げながら、録音を終了することができます。

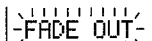
フェードアウト



1 録音中にフェードアウトしたい所で…



- フェードアウトしながら録音の一時停止になります。

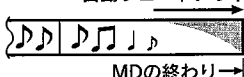


(フェードアウト中は点滅)

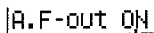
MDの終わりでは自動的にフェードアウトされます。


録音用MDの終わりで、急に音が途切れないようにするために、MDの終わりを感知して、録音レベルを自動的に少しずつ下げながら録音します。
この機能を解除するには、次のようにします。

自動フェードアウト



1. 録音中や録音待機中に…




MODE
 を2秒以上押す。

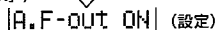
現在の設定を表示

2. 現在の設定を表示中に…



MODE
 を押す。

押すたびに、切り換わります。
(お買い上げ時は「ON」)



お知らせ

- フェードインやフェードアウト録音中に、ヘッドホンから聞こえる音は、変化しません。
- 録音された内容によっては、フェードインやフェードアウトの音が、設定した時間より短く聞こえたり、長く聞こえたりすることがあります。
- 録音可能な残量がフェード時間より短いときは、
フェードイン/フェードアウト：「^{キャン}Can't ^{フェード}FADE」
自動フェードアウト：「^{キャン}Can't A.F」
と表示され、フェード機能は働きません。

MDに録音する

オーディオ機器から録音するときの曲番について

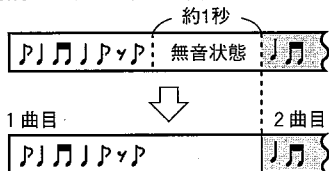
オートマーク/シンクロマークについて

オーディオ機器から録音すると、曲番が自動的につきます。

アナログ入力から録音したとき（オートマーク）

アナログ入力から録音するときは、1秒以上の無音があると、自動的に曲番がつきます。

オートマークを解除して、ひと続きの曲として録音することもできます。

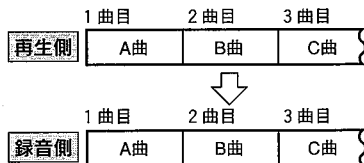


- 信号に雑音があるときなど、録音する内容によっては、正しい位置に曲番がつかないことがあります。

デジタル入力から録音したとき（シンクロマーク）

【CD/MDのみ】

CDやMDから録音するときは、CDやMDについている曲番と同じ所に、曲番が自動的につきます。



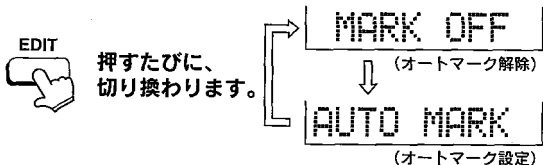
- MDによっては、再生側の曲番と録音されたMDの曲番が一致しないことがあります。
- 録音時に、再生側をプログラム再生、または手動で選曲しながら再生したときは、曲番が正しくつかないことがあります。
- CDの再生機器によっては、デジタル入力でも曲番がつかないことがあります。
- CS・BS放送の番組をデジタル入力で録音したときは、曲番が自動的につかないことがあります。



■ オートマークの設定を切り換える (アナログ入力のみ)

オートマークを解除すれば、1回の録音を1つの曲番として録音することができます。

録音の待機中または録音中に…



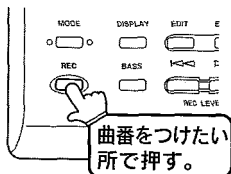
MDに録音する

- CDやMDからデジタル入力で録音したときは、オートマークを解除してもCDやMDと同じ所に曲番がつきます。

■ 手動で曲番をつける

録音中（アナログ入力／デジタル入力とも）に、手動で曲番をつけることができます。

録音中に…



03 04
3:45 0:00

曲番が1つ増えます。

- リモコンの^{サウンド}SOUNDボタンを押しても、曲番をつけることができます。

- 40秒以内に、8回以上曲番をつけようとすると、ボタンを受け付けなくなります。そのときは、しばらく待ってから操作してください。

マイクから録音するときの曲番について

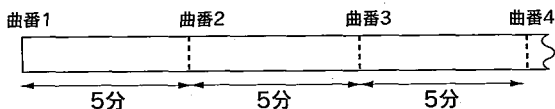
タイムオートマークについて

マイクから録音するときは、一定間隔（お買いあげ時は、約5分間隔）で曲番が自動的につきます。

また、マイクからシンクロ録音すると、3秒以上の無音で自動的に一時停止して、曲番がつきます。

- ----- は、タイムオートマークでつく曲番
- ——— は、シンクロ録音中、3秒以上無音状態のときにつく曲番

マイクからマニュアル録音をしているとき



- 5分ごとにタイムオートマークがつきます。
- 録音中にタイムオートマークの設定を変更したときは、そのときからの時間になります。

マイクからシンクロ録音をしているとき

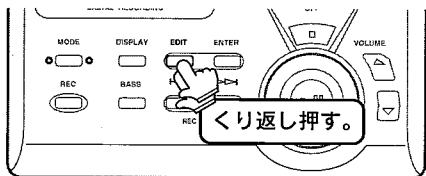


3秒以上の無音がないときは、前についた曲番から5分後にタイムオートマークがつきます。

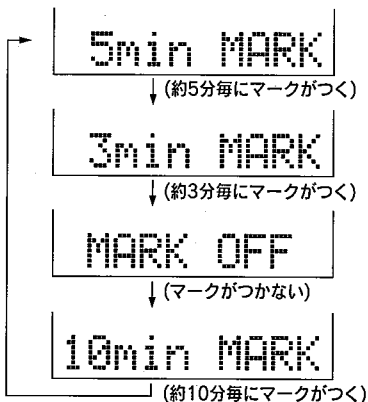


■ タイムオートマークのつく間隔を切り換える

録音の待機中または録音中に…




- 押すたびに次のように切り換わります。



- マークの間隔は、実際の録音時間と比較して多少ずれを生じることがあります。

MDに録音する

■ 手動で曲番をつける

録音中に、手動で曲番をつけたいときは、を押します。

(P.33)

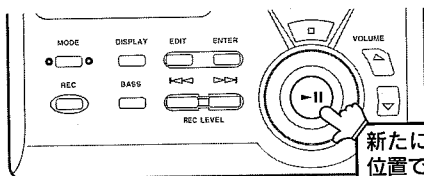
曲の途中から録音する



すでに録音されている曲の途中から、新たに録音することができます。

- 新たに録音を開始した位置以降の曲は、すべて消えてしまいます。ご注意ください。

1 再生中に…



新たに録音したい位置で一時停止状態にする。

2



ERASE OK?

(消してもよいかどうかの確認です)

- 録音を中止するときは、



を押します。

3



- 停止位置以降すべてを消去します。

4



- 録音が始まります。

消したくない曲が停止位置以降にあるときは

この操作をする前に、その曲を停止位置以前に移動してください。

▶ P.49

デジタル録音とアナログ録音について

デジタル録音とアナログ録音には次のような違いがあります。

デジタル録音

CDやMDのデジタル信号を、デジタルのまま録音する方法です。アナログに比べて、高音質での録音ができます。

アナログ録音

ステレオやラジカセなどのオーディオ機器での再生音（アナログ信号）を録音する方法です。付属の接続コードで、いろいろな機器と手軽に接続できます。

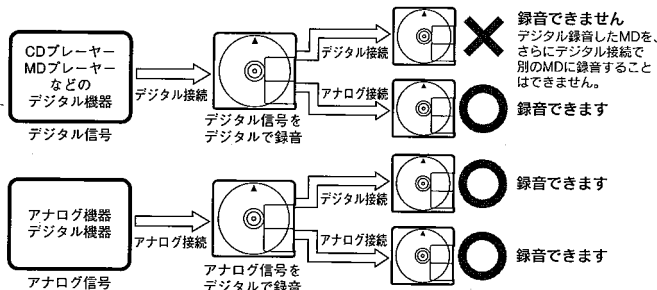
MDに録音する

■ サンプルングレートコンバーター内蔵

本機はサンプルングレートコンバーター内蔵のため、CS/BSチューナーやDATデッキなどサンプルング周波数の違う（32kHz、48kHz）デジタル機器に接続しても、自動的に44.1kHz（本機の周波数）に変換してデジタル録音できます。

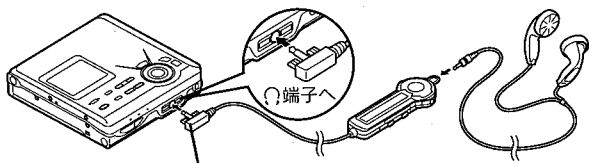
■ デジタル録音に関するご注意

デジタル入力で録音したMDを、さらに別のMDやDATなどにデジタル録音（コピー）することはできません。これは、SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）により定められた規格です。



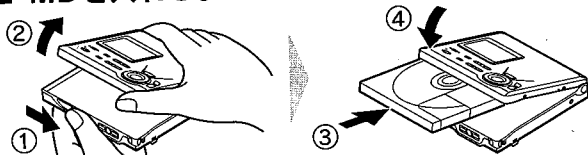
MDを聞く

1 リモコンとヘッドホンをつなぐ。



リモコンのプラグは、方向性がありますので、図のように差し込む。

2 MDを入れる。

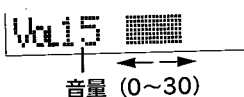
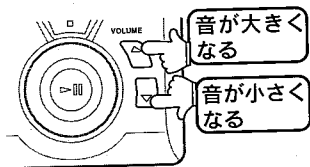


3 再生を開始する。



- 再生専用MDや誤消去防止状態にしたMDのときは、自動的に再生が始まります。
(オートプレイ P.60)

4 音量を調整する。

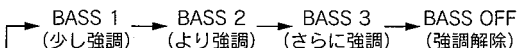




5 低音を調整する。



1回押すと現在の設定を表示し、その後押すたびに、次のように切り換わります。



- 最後の曲が終わると、停止します。

一時停止するには



- もう一度押すと、再生します。

停止するには



- 再び再生すると、止めた所から再生します。(リジューム機能)
ただし、MDを取り出すと1曲目から再生します。

電源を切るには

停止中に...



- 停止後そのままにしておくと、約2分後に電源が自動的に切れます。

MDを聞く

お知らせ



- 各プラグは最後まで確実に差し込んでください。
- モノラル長時間モードで録音されたMDは、モノラル再生します。
- [文字情報 英語] マークがついている再生専用ミニディスク(市販の音楽ソフト)など文字情報(曲名など)を表示します。
- 音量や低音の設定は、電源を切っても記憶しています。

ご注意



- MDを入れてオートプレイが働いたときは、電源の切り忘れに注意してください。
そのままにしておくと、電池が消耗します。

音のひずみについて

- 低音を強調しているときに音量を上げすぎると、曲によっては音がひずむことがあります。このときは、低音の強調レベルを下げるか、音量を下げてください。
- 音量レベルを“24”以上に設定しているときは、音のひずみを少なくするために、低音の強調レベルが自動的に調整されます。

音とびについて

- この製品は振動に対して、音とびしにくくなっていますが、連続した振動に対しては、音がとぎれることがあります。

音のエチケツト

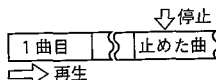
- 楽しい音楽もヘッドホンからもれる「シャカシャカ」という音は、周囲の人にとって気になるものです。特に電車やバスの中などの密集した場所では音量を下げ、他人の迷惑にならないように注意しましょう。

リジューム機能について

- 再生を停止したあと、MDを取り出さずに再び再生すると、止めた位置から再生が始まります。

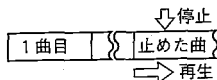


- ただし、MDを取り出すと、1曲目から再生が始まります。



- 別売のカー電源アダプター (DC-C70) で使用しているときは、こんなこともできます。(充電電池や乾電池をはずした状態です。)

1. 再生中に車のエンジンキーを“切”にすると、この製品の電源も切れます。(一部、切れない車種もあります。)
2. このあと、エンジンキーを“入”にすると、止めた曲の頭から再生が始まります。



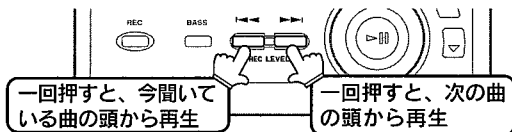
聞きたい曲を選ぶ



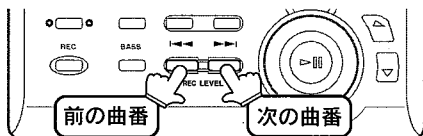
リモコンの使い方
P.16

■ 頭出しをする

再生中に、曲を選ぶ



停止中に、曲を選ぶ

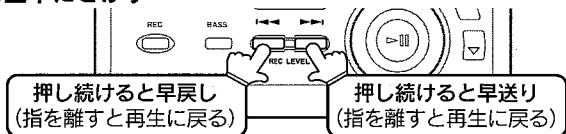


- 押したままにすると、曲番が連続して変わります。
- MDに曲名が記録されているときは、曲名が表示されます。
- (⏮)を押すと、その曲の頭から再生を始めます。

MDを聞く

■ 聞きたい場所をさがす

再生中にさがす



- 最後の曲の終わりまで行くと、一時停止状態になります。
- 最初の曲の頭まで行くと、再生状態になります。

一時停止中にさがす

一時停止中に、早送り/早戻しの操作をすると、再生中の操作よりも早くさがせます。

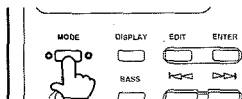
- 音は出ませんので、表示時間を目安にしてください。
- 指を離すと、その位置で一時停止状態になります。

ランダム・リピート再生をする

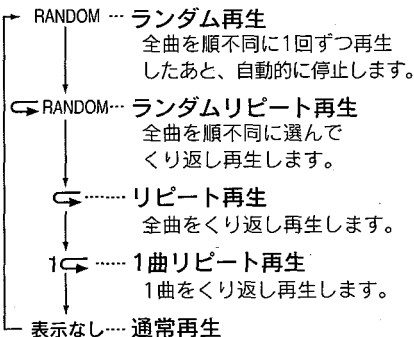


再生中に...

リモコンの使い方
P.16



押すたびに、次のように切り換わります。



- 停止中に操作したときは、再生方法を選んだあと、再生を始めてください。

ご注意



- ランダムリピート再生/リピート再生/1曲リピート再生は、再生を止めるまで続きます。切り忘れに注意してください。

お知らせ



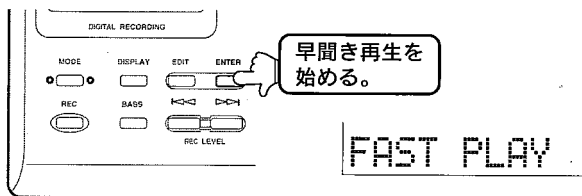
- ランダム再生/ランダムリピート再生は、自動的に曲を選びます。(自分で選曲はできません。)
- “**TOC**”表示が出ているときは、再生方法の変更はできません。
- ランダム再生/ランダムリピート再生/1曲リピート再生中は、聞いている曲をこえて早送り/早戻しはできません。
- ランダム再生/ランダムリピート再生のときは、聞いている曲以前への頭出しはできません。

MDを聞く

2倍速早聞き再生をする

モノラル長時間モードで録音されたMDなら、2倍速で聞くことができます。

モノラル長時間モードで録音されたMDの再生中に…



- 録音内容によっては、聞き取りにくいことがあります。

MDを聞く

早聞き再生を一時停止するには
再生中に…



- もう一度押すと、早聞き再生します。

通常の再生に戻すには



- 早聞き再生中に、ステレオモードで録音された曲番になったときは解除されます。
- もう一度、早聞き再生で聞くときは、**ENTER**を押します。


1枚のディスクには、1つのディスク名と最大255曲の曲名をつけることができます。（ディスク名と各曲名では最大100文字までで、合計約1,700文字まで入ります。）

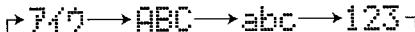
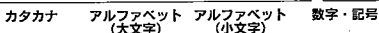
くり返し押して、
ディスク ネーム
“DISC NAME” を選ぶ。



くり返し押して、
トラック ネーム
“TRACK NAME” を選ぶ。



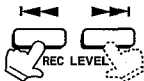
- 文字の入力状態になります。
- 操作を中止するときは、を押します。



- 選んだ文字の種類が約1秒間表示されます。

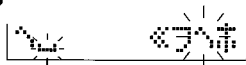


4 入れたい文字を選ぶ。



- ボタンを押し続けると、連続して切り換わります。

5 入れたい文字が表示されたら…



次の文字の入る位置

6 続きの文字を入力する。

- 操作3～5をくり返し、必要な文字をすべて入力します。

7 文字をすべて入力したあと…



- ディスク名や曲名が登録されます。

MDを編集する

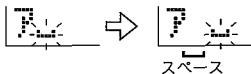
濁音や半濁音を入れるとき

濁音や半濁音つきの文字（「べ」や「ぱ」など）は、1文字で入れることはできません。濁音や半濁音をつけたい文字を入れたあと、次の文字として濁点（・）や半濁点（゜）を入れます。



スペース（空白）を入れるとき

文字の種類からスペース選んで入力することもできますが、VOLUME (△) ボタンを押すと、カーソルが右に移動して、その部分がスペースになります。



文字のまちがいに気がついたとき

入力中でも文字の修正ができます。（P.46～47）

■ ディスク名や曲名を修正する

登録したディスク名や曲名を修正 (追加/削除) できます。

- 他の機器で101文字以上のディスク名や曲名を入れたMDは、101文字目以降の修正はできません。

文字を追加するとき

例) 「ヘスト」→「ベスト」

1 文字入力状態にする。

ディスク名/曲名: P.44 操作1~2

2 追加したい位置の右の文字を選ぶ。



追加したい位置の右の文字

3 追加する文字を選び...



(文字の種類)

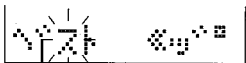


(入れたい文字)



追加したい文字

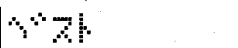
ENTER



追加

4

EDIT





文字を削除するとき

例) 「BESUT」 → 「BEST」

1 文字入力状態にする。

ディスク名/曲名：P.44 操作1～2

2 削除したい文字を選ぶ。



BESUT « 74

削除したい文字

3



BEST- « 74

4














BEST

MDを編集する

文字を変更するとき

- 変更したい文字を削除したあと、新しい文字を追加してください。
変更したい文字だけを変えることはできません。

入力できる文字

文字の種類	入力できる文字
 カタカナ   アルファベット (大文字)   アルファベット (小文字)   数字・記号	<div>  スペース ↓ アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト ナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨ ラリルレロ ワランアイウエオヤユヨツ ° - / </div> <div>  スペース ↓ A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z . , / </div> <div>  スペース ↓ a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z . , / </div> <div>  スペース ↓ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ _ ` </div>

MDを編集する

お知らせ



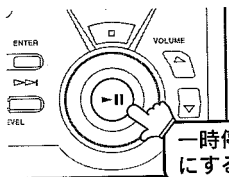
他の機器で聞くときのご注意

この製品は、MDの標準規格に従ったカタカナ文字の表示が可能になっています。他の機器でMDを再生した場合は、カタカナ表示にならないことがあります。

曲を移動する



1 移動したい曲の再生中に...



一時停止状態にする。

- 停止中では で曲を選びます。

2 くり返し押して、“MOVE”を選ぶ。



MOVE

3

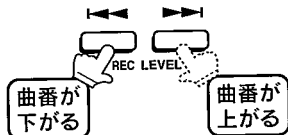


05→ 01 ?

(移動してもよいかどうかの確認です)

- 操作を中止するときは、 を押します。

4 移動先を選ぶ。



移動したい曲 移動先

05→ 03 ?

(3曲目に移動するとき)

5



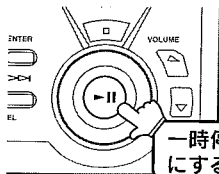
- 曲が移動し、その曲の頭で一時停止状態になります。
(1の操作を停止中に行ったときは、停止状態になります。)
- 移動した曲以降の曲番は、自動的に新しい曲番に変わります。

MDを編集する

1曲ずつ曲を消す



1 消したい曲の再生中に...



- 停止中では で曲を選びます。

2 ^{ワイレース}くり返し押して、“ERASE”を選ぶ。



ERASE 03

3



ERASE 03?

(消してもよいかどうかの確認です)

- 操作を中止するときは、 を押します。

4



- 曲が消え、総曲数が表示されます。
- 消した曲以降の曲番は、1つずつ小さくなります。

続けて他の曲を消すときは

1～4の操作をくり返します。

ご注意

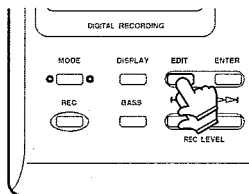


- 曲を消すと、もとはには戻せません。
よく確かめてから操作してください。

すべての曲を消す



- 1** 停止中または一時停止中に…
 オール イレース
 くり返し押して、“ALL ERASE”を選ぶ。



ALL ERASE

- EDIT を2秒以上押し続けて、選ぶこともできます。

2



ERASE OK?

(消してもよいかどうかの確認です)

- 操作を中止するときは、OFF を押します。

3



BLANK MD

- すべての曲が消えます。

MDを編集する

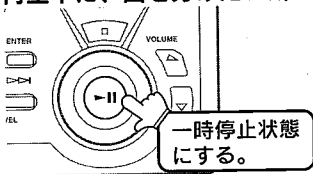
ご注意 ● 曲を消すと、もとには戻せません。
 よく確かめてから操作してください。



1つの曲を2つに分ける



1 再生中に、曲を分けたい所で…



2 くり返し押して、^{デバインド}“DIVIDE”を選ぶ。




DIVIDE

3



DIVIDE OK?

(分けてもよいかどうかの確認です)

- 操作を中止するときは、を押します。

4



- 曲が分けられ、うしろの曲の頭で一時停止状態になります。
- 分けた曲以降の曲番は、1つずつ大きくなります。

分ける曲に曲名がついているとき

曲を分けると、両方の曲に同じ曲名がつきます。ただし、^{トゥク}“TOC FULL”状態では、うしろの曲に曲名がつかないことがあります。

■ ^{トゥク}TOC FULL (P.69)

分けられる曲数について

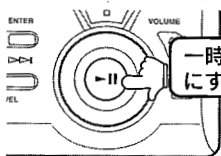
1枚のMDで最大255曲まで曲を分けることができます。ただし、254曲以下でも曲を分けられないことがあります。

■ ^{トゥク}TOC FULL (P.69)

2つの曲を1つにつなぐ



1 つなぐうしろの曲を再生中に…



一時停止状態にする。

- 停止中では で曲を選びます。

2 くり返し押して、“COMBINE” を選ぶ。

コンバイン



COMBINE

3



05+ 06 ?

(つないでもよいかどうかの確認です)

- 操作を中止するとき、 を押します。

4



- 曲がつながり、つながった曲の頭で一時停止状態になります。(1の操作を停止中に行ったときは、停止状態になります。)
- つないだ曲以降の曲番は、1つずつ小さくなります。

つなぐ曲に曲名がついているとき

曲名は、前の曲のものになります。

ただし、前の曲に曲名がついていないときは、うしろの曲名がつきます。

こんなときは、つなげられないことがあります

- モノラル長時間モードで録音した曲と、ステレオモードで録音した曲。
- デジタル入力で録音した曲と、アナログ入力で録音した曲。
- 12秒以下の短い曲。

離れた2つの曲をつなぐとき

曲を移動して2つの曲を連続させたあと、1曲につなぎます。

MDを編集する

文字情報をスタンプする

■ スタンプする前に

次のような、同じ曲を録音したMDが2枚あるときは、1枚目のMD（マスターMD）の文字情報（ディスク名や曲名）を、もう1枚のMD（スタンプ用MD）に、スタンプすることができます。

1. マスターMDとは



曲・文字情報

曲および文字情報の入った録音用MD。
(再生専用MDからは文字情報をスタンプすることはできません。)

2. スタンプ用MDとは



曲のみ

マスターMDと同じ曲が同じ順番で入ったMD。
(マスターMDとスタンプ用MDの総曲数が一致していることを確かめてください。)

■ 文字情報をスタンプする

MDを編集する

マスターMD



1 マスターMDを入れる。

マスターMD



マスターMDとスタンプ用MDの
区別をつけておいてください。

2 停止中に… くり返し押し、^{ネーム} “NAME STAMP” ^{スタンプ} を選ぶ。




NAME STAMP

3



READ OK?

(文字情報を読み込んでよいかどうかの確認です)

●操作を中止するときは、を押します。



マスターMD



4

ENTER



Reading!

(文字情報を読み込んでいます)

5

チェンジ

“CHANGE MD” と表示されたら、
マスターMDを取り出す。

CHANGE MD

マスターMDを取り出すとき、電源を切らないでください。
操作が中止されます。

スタンプ用MD



6 スタンプ用MDを入れる。

スタンプMD



INSERT MD

TOC READ

WRITE OK?

(文字情報を記録してよいかどうかの確認です)

7

ENTER



Writing!

COMPLETE

(完了)

文字情報の記録が終わり、停止状態になります。

お知らせ



- マスターMDとスタンプ用MDの総曲数(トラック数)が一致しないときは、次のように表示され、電源が切れます。

Can't STAMP

(このようなときは、編集操作で
総曲数を一致させてください。)

- スタンプ用MDは、この製品で録音されたものをお使いください。他の機器で録音されたMDでは、漢字情報がスタンプされないことがあります。そのときは、この製品でディスク名か曲名を一文字でも入力し、一度TOC^{トップ}を書き込むと、スタンプできるようになります。

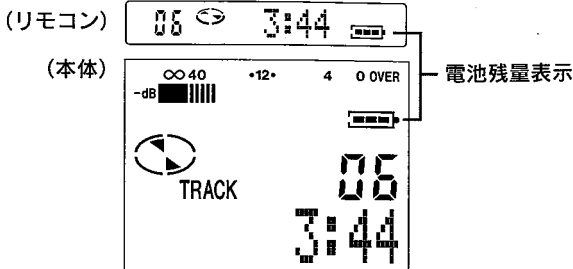
MDを編集する

電池残量を確認する

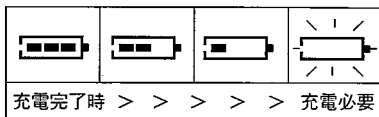


電池残量は、動作中に表示されます。

残りわずかになってくると電池残量表示が点滅します。
充電しなおすか、新しいアルカリ乾電池と交換してください。



電池残量表示のみかた



- 完全に消耗すると、「バッテリー エンプティ ロー バッテリー BATT EMPTY (Lo BATT)」が表示されたあと、電源が切れます。

便利な使いかた

お知らせ



- 充電電池や乾電池でお使いの場合、電源を入れたときに電池の容量を確認するために、約20秒間は電池残量表示が安定しないことがあります。
- 付属のACアダプターや別売のカー電源アダプターで使用するときは、電池残量表示はできません。
- 動作内容によって目盛が増減することがあります。
- 充電電池と乾電池を併用しているときは、まず充電電池を使用し、そのあと乾電池を使用します。電池残量表示は、使用している電池の残量を表示するため、切り換え時に目盛が増えることがあります。



■
便利な使いかた

表示内容を確認する



■ 経過時間・残り時間の確認

再生中に… (記録されていないときは、
「NoNAME」と表示します。)

DISPLAY

押すたびに切り換わります。

曲名

再生中の曲の経過時間

再生中の曲の残り時間

TRACK LOVE 08 → TRACK 08 0:02 → TRACK 08 -3:43

■ 録音残り時間・総再生時間の確認

停止中に… (記録されていないときは、
「NoNAME」と表示します。)

DISPLAY

押すたびに切り換わります。

ディスク名

録音残り時間

総再生時間

DISC TOTAL 16 → DISC REC TOTAL 16 → DISC TOTAL 16
ベストヒット -34:53 29:07

■ 各曲の再生時間の確認

停止中に…

REC LEVEL

1. 曲番や曲名を選ぶ。

DISPLAY

2. 押す。

TRACK 03 曲名
LOVE

TRACK 03 3曲目の再生時間
3:53

(再生時間を表示したあとは、曲番を選ぶだけで選んだ曲の再生時間が確認できます。)

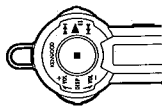
お知らせ



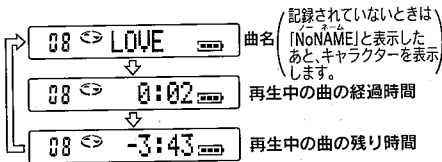
- 再生専用MDでは、録音残り時間は表示されません。
- 経過時間や残り時間の表示は、実際の時計の時間と異なることがあります。

■ 経過時間・残り時間の確認

再生中に…

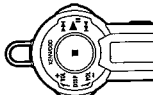


押すたびに
切り換わります。

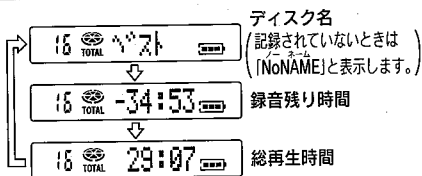


■ 録音残り時間・総再生時間の確認

停止中に…



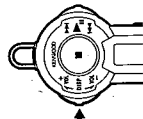
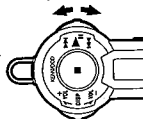
押すたびに
切り換わります。



■ 各曲の再生時間の確認

停止中に…

1. 曲番や曲名を選ぶ。



2. 押す。



(再生時間を表示したあとは、曲番を選ぶだけで選んだ曲の再生時間が確認できます。)

便利な使いかた

いろいろな設定を変える

1 停止中に… (MDが入っている状態で)

MODE



セット アップ
「SET UP」が表示される
まで2秒以上押す。

指を離すと、「BEEP ^{ビープ オン} ON」
または「BEEP ^{ビープ オフ} OFF」が
表示されます。

2 設定メニューを選び、設定を変える。



メ
ニ
ー

「BEEP ON」 ↔ 「EL ON 1」 ↔ 「A-PLAY ON」 ↔ 「AUTO Psave」 ↔ 「D.L MODE 1」

設
定
項
目

キータッチ音

ビープ オン
「BEEP ON」
(鳴らす)
ビープ オン
「BEEP OFF」
(消す)

リモコンの照明

オン
「EL ON 1」
(点灯)
オン
「EL ON 2」
(点灯)
オフ
「EL OFF」
(消灯)

オートプレイ

オートプレイ オン
「A-PLAY ON」
(設定)
オートプレイ オフ
「A-PLAY OFF」
(解除)

オートパワー
セーブ

オートパワーセーブ
「AUTO Psave」
(設定)
パワーセーブオフ
「Psave OFF」
(解除)

デジタル録音
レベルモード

デジタル モード
「D.L MODE 1」
(設定保持)
デジタル モード
「D.L MODE 2」
(設定解除)

MODE



それぞれの設定メニューのときに、
押すたびに設定が切り換わります。

3 設定が終われば…

OFF



便利な使いかた



キータッチ音 ……お買いあげ時：「^{ビープ オン} BEEP ON」(鳴らす)
操作したときの“ピッ”という音を、鳴らさないようにすることが出来ます。

リモコンの照明 ……お買いあげ時：「^{オン} EL ON 1」(点灯)
「^{オン} EL ON 1」：操作したときに、約10秒間点灯します。
「^{オン} EL ON 2」：充電池／乾電池で使用時のみ、約10秒間点灯します。ACアダプター／カー電源アダプターで使用時は、常に点灯（少し暗く）します。
「^{オフ} EL OFF」：点灯しません。

オートプレイ ……お買いあげ時：「^{オート プレイ オン} A-PLAY ON」(設定)
再生専用MDや誤消去防止状態にしているMDを入れても自動再生しないようにすることが出来ます。

オートパワーセーブ ……お買いあげ時：「^{オート パワーセーブ} AUTO Psave」(設定)
振動が多い所で使用するとき、解除すると音とびをしにくくすることが出来ます。(電池持続時間は短くなります。)

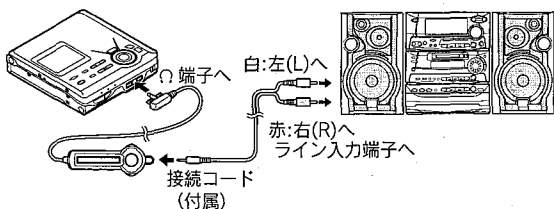
デジタル録音レベルモード ……お買いあげ時：「^{デジタル モード} D.L MODE 1」(設定保持)
「^{デジタル モード} D.L MODE 1」：デジタル録音レベルを一度調整すると、設定内容は録音を停止しても保持されます。
「^{デジタル モード} D.L MODE 2」：録音を停止するごとに、^{デジタル}デジタル録音レベルは「D.L 0dB」に戻ります。

オートパワーセーブについて

再生中は最大約40秒間の音楽情報を蓄積しています。
このため、外部からの振動があっても、音が途切れることなく再生することが出来ます。(音とびガードメモリー)
その蓄積時間を10～40秒の間で自動的に調整して、消費電力を少なくするのが、「オートパワーセーブ」です。
この機能を解除すると、蓄積時間が常に40秒になります。
(ACアダプター／カー電源アダプターで使用時は、常に40秒です。)

他の機器と接続して使う

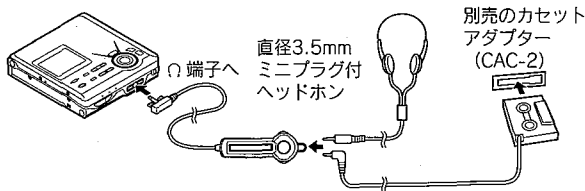
■ ステレオやラジカセで聞く



- 他の機器で録音するときは、この製品のキータッチ音を、消しておいてください。(P.60)
キータッチ音を消さないと、キータッチ音も録音されます。

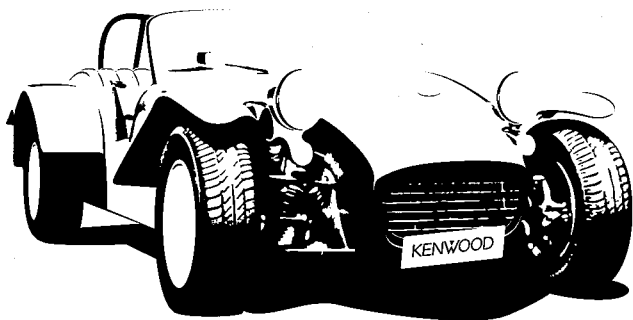
■ カーステレオや市販のヘッドホンで聞く

使用するヘッドホンによって、電池持続時間が変わります。
ヘッドホンは、直接本体につなぐこともできます。



- カー電源で使用するときは、電池を抜いて使用してください。
- 各プラグは確実に差し込んでください。
接触不良などにより、正しく再生できないことがあります。
- 音量は、この製品と接続した機器の両方で調整してください。

便利な使いかた



■
便利な使いかた

誤動作を防止する

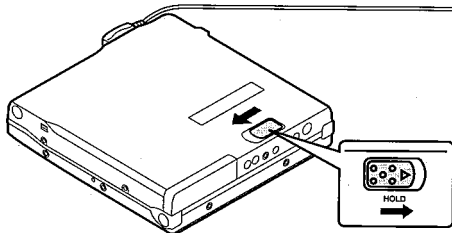
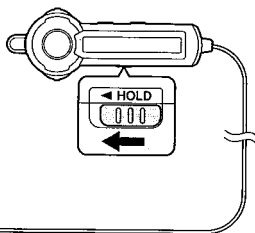


混雑した電車などで、誤って操作ボタンが押されても、現在の状態が変わらないようにすることができます。

ホールド

**HOLDスイッチを
矢印の方向にずらす。**

(オレンジ色の印が見えます)



- 解除するときは、矢印と反対の方向にずらしします。

便利な使いかた

	本 体	リモコン
リモコンでも本体でも操作できなくする	ホールド	ホールド
リモコンだけで操作できるようにする	ホールド	ホールド解除
本体だけで操作できるようにする	ホールド解除	ホールド
リモコンでも本体でも操作できるようにする	ホールド解除	ホールド解除

お知らせ



- 電源を切った状態でホールド機能を働かせておけば、誤って電源が入ることなく、電池の消耗を防ぐことができます。

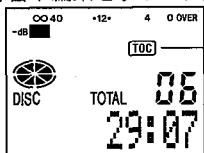
TOCについて

^{トック}TOC (Table of Contentsの略) とは、曲番や録音場所など、曲を認識するための目次情報です。再生時の頭出しがすばやくできたり、自動的に空いている場所に録音できるのは、このTOCでMD全体を管理しているからです。

- TOCは、曲や音声とは別の場所 (MD内) に記録されています。

TOCの記録について


録音や編集をすると、画面に **TOC** が表示されます。



TOC 表示 これは、録音や編集によって、TOCの内容が変更されていることを示しています。

- この時点では、まだMDには記録されていません。

TOCはいつ記録される？

TOCは停止中に  を押して、この製品の電源を切ると、自動的に記録されるようになっています。



GOOD BYE!

TOCの記録が終わると、電源が切れます。

ご注意



^{トック} **TOC** (TOCの内容が変更中)や ^{エディット} **"TOC EDIT!"** (新しいTOCの内容を書き込み中)が表示されているときは、次のことはしないでください。

TOCが正しく記録されずに、録音や編集した内容が消えます。

- ・ 本体に衝撃を与えない。
- ・ ACアダプターを抜かない。
- ・ 充電池や乾電池を抜かない。

お知らせ



- **TOC** が表示されているときは、MDは取り出せません。電源を切ってから、取り出してください。
- 編集内容の書き込みは、いくつかの編集作業のあと、最後にまとめて行ってもかまいません。






「故障かな？」と思ったら

次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前に、もう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、76ページの「保証とアフターサービス」をごらんのうえ修理を依頼してください。



こんなとき

ここをおたしかめください




電源が入らない

- ACアダプターがはずれていませんか。  P.20
- 電池が消耗していませんか。  P.18
- 誤動作防止状態になっていませんか。  P.64
- 「つゆつき現象」がおきていませんか。  P.67
- 衝撃や静電気などの影響を受けていませんか。  P.67

音が聞こえない

- 音量が最小になっていませんか。  P.38
- リモコンやヘッドホンがはずれていませんか。  P.38
- 音楽用MD以外のMDデータディスクを再生していませんか。


操作ボタンを押しても、操作ができない

- 誤動作防止状態になっていませんか。  P.64
- 電池が消耗していませんか。  P.18
- リモコンやヘッドホンがはずれていませんか。  P.38




音がとぎれる

- 電池が消耗していませんか。
 - 振動が多い場所で使用していませんか。
- 👉 P.18

MDが取り出せない

- 曲番や文字情報などの書き込み中ではありませんか。
トラック エディット
 ("TOC EDIT" 表示)  P.65
- 録音中、または編集ではありませんか。

録音や編集ができない

- MDが誤消去防止状態になっていませんか。  P.23
- 他の機器と正しく接続されていますか。  P.24
- 録音中または編集集中に、ACアダプターがはずれたり
停電になっていませんか。
- 誤動作防止状態になっていませんか。  P.64
- 他の機器の光出力が出ていますか。
他の機器の取扱説明書を読んでください。

- この製品をテレビ、スピーカーなど磁気の帯びたものの近くで使用したり、放置しないでください。故障の原因となります。
- ラジオやテレビに雑音や映像の乱れが生じるときは、この製品を離してください。

特定のMDのみで異常が起きるとき

MDによっては、記録された各情報に異常があるとき、音がとぎれたり、再生の途中で停止したりすることがあります。

このようなときは、故障と思われる修理を依頼される前に、他のMDでもお確かめください。

異常が起きたら

この製品を使用中に、衝撃、過大な静電気、または落雷によってコンセントから異常な電圧が流れた場合や、誤った操作をした場合などに、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。

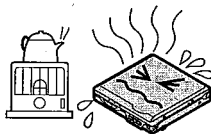
このようなときには、次のようにしてください。

- ① ACアダプターをコンセントからはずす。
- ② 電池をはずす。
- ③ 約30秒間そのままにしておく。
- ④ ACアダプターをコンセントにつないで操作する。

つゆつき現象について

次のような場合には、内部のレンズやディスクにつゆ（水滴）がつくことにより、正常な動作をしなくなることがあります。

- 暖房をつけた直後
- 湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき
- 冷えた所から急に暖かい所に移動したとき



つゆを取るには

MDを取り出して約1時間くらい置いておけば、つゆが取り除かれ、正常な動作をするようになります。

録音中に停電すると

ACアダプターのみを使用して録音（^{トック}TOC情報が書き込まれていない状態）しているときに停電があると、そのときの録音内容は消えてしまいます。

- 充電された充電池が入っているときは、停電しても録音は完了します。

こんな表示がでたら

表 示	意 味	このようにしてください
BATT EMPTY (Lo BATT)	● 充電池や乾電池の残量がなくなった	● 充電する 乾電池を交換する
BLANK MD (BLANK)	● 音楽や文字情報が記録されていない	● 再生するときは、録音されたMDと取り換える
Can't FADE Can't A.F	● 録音可能時間がフェード時間より短い	● 録音残り時間を確かめて、録音を開始する
Can't COPY (Can'tC)	● コピー禁止のものから録音しようとした	● 付属の接続ケーブルを使ってアナログ入力で録音する
Can't EDIT (Can'tE)	● 編集できない	● 別の曲を編集してみる
Can't READ※ (Can'tS) (Can'T) (Can'tU)	● ディスクにキズがついていた りして、情報を読み取れない	● MDをもう一度入れ直す ● 他のMDと取り換える
Can't REC (Can'tR)	● ショックやディスクのキズで正しく録音できなかった	● 録音をやり直すか、他の録音用MDと取り換える
Can't STAMP	● スタンプできない	● 曲数を確かめる
Can't WRITE (Can'tW)	● TOC情報を正しくMDへ記録できない (ディスクに大きなキズがある)	● 他の録音用MDと取り換える
DEFECT (DEFECT)	● ディスクにキズがある	● 再生した音が異常であれば録音をやり直す ● 他の録音用MDと取り換える
DISC FULL	● MDに録音できる空きがない	● 他の録音用MDと取り換える
TOC FORM※※ (T form※)	● 記録した信号に異常がある	● すべての曲を消し、録音をやり直す
Er-MD※※ (ErMD※)	● 自己診断により故障と判断した	● お買いあげの販売店に修理をお申しつけください

() 内はリモコンの表示です。 ※には数字や記号が入ります。

表 示	意 味	このようにしてください
HOLD (HOLD)	● ホールド機能が入っている	● HOLDスイッチをもとに戻す
LOCKED Can't LOCK	● 録音中、または編集集中にMDを取り出そうとした	● 電源を切ってからMDを取り出す
NO DISC	● MDが入っていない	● MDを入れる
NO SIGNAL (noSIG.)	● デジタルケーブルの接続不良 ● 再生する機器から出力信号が出ていない	● デジタルケーブルをしっかり接続する ● 音とびを防ぐ機能がついているポータブルCDプレーヤーでは、そのスイッチを“切”にする ● 接続した機器を再生してみる
PLAY MD (PLAY md)	● 再生専用MDに録音や編集をしようとした	● 録音用MDと取り換える
POWER ?	● 専用以外の電源を使用している	● 専用の電源を使用する
PROTECTED	● MDが誤消去防止状態になっている ● MDが入っていないのに、録音をしようとした ● 再生専用MDに、電源切状態からRECボタンを押した	● 誤消去防止状態をもとに戻す ● 録音用MDを入れる ● 録音用MDと取り換える
SORRY (SORRY)	● 曲番を検索中または書き込み中のため操作できない	● 少し待って操作する
TEMP OVER (TEMP!)	● 温度が高くなりすぎた	● 電源を切ってしばらく休ませる
TOC FULL	● 文字情報（ディスク名／曲名など）を記録する空きがない	● 他の録音用MDと取り換える
Tr. Protect	● 曲が消去防止状態になっている	● 曲を録音した機器で編集する
? DISC (?DISC)	● 音楽以外（データなど）が入ったMDを再生した ● 記録した信号に異常がある	● データなどが入ったMDは再生できません ● 他のMDと取り換える

() 内はリモコンの表示です。

MDのシステム上の制約

MDは録音方法や編集のしかたによって、次のような症状がでることがありますが、故障ではありません。

こんなとき

MDの最大録音時間に満たなくても“DISC FULL”^{ディスクフル}または“TOC FULL”^{トラックフル}が表示されることがある

短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがある

MDに録音した時間と残りの時間の合計が最大録音時間に一致しないことがある

編集で曲と曲とをつなげないことがある

録音された曲を早戻し／早送りすると、音のとぎれが長いことがある

曲の途中で曲番がつくことがある

このような制約があります

録音時間に関係なく、曲数が最大（255曲）になると録音できなくなります。また、録音・編集をくり返したMDやMDにキズがある場合（その部分は自動的に録音不可となる）は、上記未満でも録音できないことがあります。

MDの録音残り時間を表示するとき、12秒以下の無録音部分は無視されます。このため、短い曲を何曲消しても残り時間が増えないことがあります。

通常は、1クラスタ（約2秒）を録音の最小単位として録音されます。これに満たない曲でも約2秒間のスペースを使います。たとえば、3秒の曲でも2クラスタ（約4秒）のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。

録音・編集をくり返して行ったMDでは、曲をつなげることができないことがあります。

録音・編集をくり返して行ったMDでは、1つの曲が分散して記録されることがあるため、早戻し／早送り中に音がとぎれることがあります。

録音するMDにゴミやキズがあると、曲番がつくことがあります。

-
- デジタル録音したMDを、さらにデジタル入力で他のディスクに録音することはできません。P.37

MDについて

MD自体はカートリッジに収納されていますので、ホコリ・キズ・指紋などがつきにくく手軽に取り扱えます。

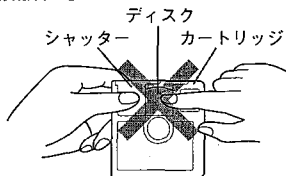
ただし、カートリッジのすき間から入る砂ボコリやカートリッジのよごれなどが誤動作の原因となることもありますので、次のことに注意してください。

取り扱いについて

■シャッターを開けてディスクに直接触れないで！

■MDは絶対に分解しないで！

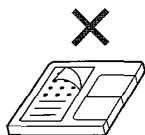
- シャッターは無理に開けるとこわれます。
- カートリッジ表面にホコリやゴミなどがついたときは、乾いた布でふき取ってください。



ラベルを貼り付けるときのお願い

MDカートリッジにラベルを正しく貼り付けないと、MDが内部につまって取り出せなくなることがあります。

- ラベルは指定の場所（エリア内）に正しく貼ってください。（指定エリア以外には貼り付けしないでください。）
- ラベルを重ねて貼り付けしないでください。
- ラベルがめくれたり、浮いたりしているときは、新しいラベルに貼り換えて使用してください。



保管場所について

必ず専用ケースに入れて保管してください。

次のような所に置かないでください。

- 直射日光が長時間あたる場所（特に密閉した自動車内等）
- 温度や湿度の高い所
- カートリッジの中に砂やホコリが入りやすい場所（海辺や砂地等）

音楽著作権について

- あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
 - この商品（デジタル録音機器）には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
- なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

社団法人 私的録音補償金管理協会

東京都新宿区西新宿3丁目20番2号

東京オペラシティタワー11F

東京オペラシティ郵便局 私書箱2583号

電話 (03) 5353-0336 (代表)

FAX (03) 5353-0337

充電電池について

- リチウムイオン充電電池は、使用しなくても最低3カ月に1回は充電してください。
- 充電電池は、約300回充電することができます。
- フル充電しても電池持続時間が半分くらいになったり、充電できないときは、充電電池を新しいもの（別売品のNB-L11A）と交換してください。
- 充電が完了したあと、そのまま充電状態にしておいても差しつかえありません。
- 寒い所では電池持続時間が短くなります。
- この製品や充電電池の充電端子に異物（金属など）をはさんだり、汚さないでください。充電端子が汚れていると、使用時間が短くなったり、充電できないことがあります。
- 充電後や使用後、充電電池が暖かくなることがありますが、異常ではありません。

充電式電池のリサイクルご協力お願い

不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで
充電式電池リサイクル協力店へお持ち下さい。



使用後はリサイクルへ

Li-ion Mn 充電式電池

- リサイクルのときは、次のことにご注意ください。
 - ・（+）端子と（-）端子にテープを貼る。
 - ・外装カバー（被覆・チューブなど）をはがさない。
 - ・分解しない。

参考

仕様

仕様変更などにより、内容が一部異なることがあります。ご了承ください。

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
録音方式	磁界変調オーバーライト方式
読み取り方式	非接触光学式読み取り方式（半導体レーザー使用）
回転数	約400～1,350rpm
エラー訂正方式	アドバンスド クロス インターリーブ リードソロモンコード (ACIRC)
音声圧縮伸長方式	ATRAC (Adaptive TRansform Acoustic Coding) 24ビット演算方式
チャンネル数	ステレオ2チャンネル/モノラル（長時間モード）1チャンネル
サンプリング周波数	44.1kHz（32kHz、48kHzは、44.1kHz に変換して録音）
周波数特性	20～20,000Hz（±3dB）
ワウ・フラッター	測定限界（±0.001%W.PEAK）以下
入力端子	ライン/光デジタル兼用、マイク（プラグインパワー対応）
出力端子	ヘッドホン（インピーダンス16Ω）/リモコン端子兼用
入力感度	MIC H : 入力レベル0.25mV（インピーダンス10kΩ） MIC L : 入力レベル2.5mV（インピーダンス10kΩ） LINE : 入力レベル100mV（インピーダンス20kΩ）
出力レベル	ヘッドホン：最大出力レベル10mW+10mW（インピーダンス32Ω） LINE : 規定出力250mV（インピーダンス10kΩ）
電源	DC 3.6V : 付属リチウムイオン充電電池（NB-L11A）x1 DC 3.3V : 付属乾電池ケース（昇圧回路内蔵） （別売：単3形アルカリ乾電池1.5V x1） DC 4.5V : 別売カー電源アダプター（DC-C70） （DC12V/24V ⊖ 接地車用） DC 5V : 付属ACアダプター（100V AC、50/60Hz）

電池持続時間

付属充電電池（フル充電） 使用時 NB-L11A	別売：高容量単3アルカリ 乾電池1本使用時 （充電電池収納時）	別売：高容量単3アルカリ 乾電池1本使用+付属充電電池 （フル充電）使用時
連続録音 約9.5時間	連続録音 約4.5時間	連続録音 約14時間
連続再生 約14.5時間	連続再生 約11.5時間	連続再生 約26時間

- 連続録音時間、アナログ入力で音量レベル“VOL 0”時。
- 連続再生時間、音量レベル“VOL 15”時。
- 周囲温度20℃にて充電/連続使用したときの標準値です。
- 乾電池のメーカーや種類、使用環境温度によって、使用時間は異なります。

充電時間	約4時間（付属充電スタンド使用時） 約3時間（付属ACアダプター使用時）
外形寸法	79.4（幅）x 18.15（高さ）x 81.8（奥行）mm
質量	約160 g（充電電池含む）



別売品について

この製品を正しく動作させるために、別売品は指定のものをお使いください。

ステレオなどにつないで使うときに



光デジタルケーブル

OPC-300

(角形  — 丸形  端子用)

光デジタルケーブル

OPC-500

(丸形  — 丸形  端子用)

車の中で使うときに

カーバッテリーアダプター

DC-C70

カーカセットアダプター

CAC-2

録音するときに

ステレオマイクロホン

MC-R1

(プラグインパワー方式)

保証とアフターサービス(よくお読みください)

1. 保証について

- 保証書－製品には保証書が(別途)添付されております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

- 保証期間－お買い上げの日より1年間です。

電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

2. 修理に関するご相談ならびにご不明な点は

お買い上げの販売店または「ケンウッドサービス網」に記載されている、当社サービス拠点にお問い合わせください。

3. 補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。この期間は、通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. 修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または「ケンウッドサービス網」に記載されている、当社サービス拠点にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

5. アフターサービスについて

- 保証期間中は、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーションが修理をさせていただきます。

修理に際しましては保証書をご提示ください。

- 保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 出張修理、持込修理のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。
- 修理料金の仕組み(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)
 - 1 技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
 - 2 部品代：修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
 - 3 出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- 修理のために本機をお持ち込みになるときは、本体のほかリモコン、ヘッドホン、ACアダプターなど付属品も一緒にお持ちください。

6. 本機に添付の保証書は、日本国内においてのみ有効です。

- This warranty is valid only in Japan.

ケンウッドサービス網

製品に対するお問合せ、アフターサービスについてのお申し込みは、購入店かお近くのケンウッドのサービスセンター、サービスステーションへお申しつけください。

北海道

札幌サービスセンター	札幌市東区北34条東14丁目1-23 ☎007-0834 ☎(011) 743-7740
帯広サービスステーション	帯広市西22条南3-32-6 ☎080-2472 ☎(0155) 33-0611
旭川サービスステーション	旭川市豊岡五条7-35-1316 ☎078-8235 ☎(0166) 32-4411

東北

仙台サービスセンター	仙台市若林区大和町5-32-12(サンライズ大和) ☎984-0042 ☎(022) 284-1171
青森サービスステーション	青森市勝田1-19-4 ☎030-0821 ☎(0177) 35-3431
八戸サービススポット	八戸市城下4-19-8(テクニカルスタッフ八戸) ☎031-0072 ☎(0178) 45-8846
盛岡サービスセンター	盛岡市厨川4-5-11 ☎020-0124 ☎(019) 646-2311
郡山サービスステーション	郡山市安積3-257 ☎963-0107 ☎(024) 945-4721
山形サービスステーション	山形市東原町3-9-8 ☎990-0034 ☎(023) 623-7441
秋田サービスステーション	秋田市千秋矢留町9-14 ☎010-0877 ☎(018) 836-0131

関東・甲信越

高崎サービスセンター	高崎市緑町2-9-1 ☎370-0073 ☎(027) 362-6211
水戸サービスステーション	水戸市河和田3-2422-1 ☎311-4152 ☎(029) 253-6711
宇都宮サービスステーション	宇都宮市今泉町1639-3 ☎321-0962 ☎(028) 638-3161
新潟サービスステーション	新潟市姥ヶ山1-5-37 ☎950-0923 ☎(025) 287-7736

松本サービスステーション	松本市南松本2-7-30(昭和ビル3F)
	☎390-0832 ☎(0263) 26-7331
大宮サービスセンター	大宮市本郷町258-1
	☎330-0033 ☎(048) 664-3611
東京サービスセンター	目黒区青葉台3-17-9
	☎153-0042 ☎(03) 3477-5411
立川サービスステーション	立川市曙町1-22-25(アバクス立川1F)
	☎190-0012 ☎(042) 523-2151
千葉サービスセンター	千葉市美浜区中瀬2-6 (ワールドビジネスガーデン マリブイースト17F)
	☎261-7117 ☎(043) 297-2311
柏サービスステーション	柏市富里1-2-1
	☎277-0081 ☎(0471) 63-1441
横浜サービスステーション	横浜市神奈川区西神奈川1-5-2(ナイスアーバン東神奈川1F)
	☎221-0822 ☎(045) 312-4481
神奈川中央サービスセンター	座間市広野台2-5032
	☎228-0012 ☎(046) 256-9681

中部

名古屋サービスセンター	名古屋市北区辻本通1-11
	☎462-0861 ☎(052) 917-2550
四日市サービスステーション	四日市市新正4-15-10
	☎510-0064 ☎(0593) 52-3133
静岡サービスセンター	静岡市沓谷5-61-1
	☎420-0816 ☎(054) 262-7611
金沢サービスセンター	金沢市南新保町ト-44
	☎920-0064 ☎(076) 265-5045
岡崎サービスステーション	岡崎市欠町清水田20-25
	☎444-0011 ☎(0564) 23-2686

近畿

大阪サービスセンター	大阪市都島区東野田町1-20-5(大阪京橋第一生命ビル3F)
	☎534-0024 ☎(06) 6352-1055
京都サービスステーション	京都市伏見区治部町56-1
	☎612-8374 ☎(075) 603-7750
神戸サービスステーション	神戸市中央区海岸通2-2-3(サンエービルディング東館4F)
	☎650-0024 ☎(078) 333-1743

ケンウッドサービス網 (続き)

中国・四国

広島サービスセンター	広島市西区横川新町14-12(第三山本ビル)
	☎733-0013 ☎(082) 293-0310
徳山サービスステーション	徳山市岡田町212
	☎745-0066 ☎(0834) 31-1311
岡山サービスステーション	岡山市西市308-6
	☎700-0953 ☎(086) 241-8037
高松サービスセンター	高松市松島町3-1
	☎760-0068 ☎(087) 835-2413
松山サービスステーション	松山市山越4-11-2
	☎791-8013 ☎(089) 925-5760

九州

福岡サービスセンター	福岡市南区向野2-8-18
	☎815-0035 ☎(092) 551-9755
北九州サービスステーション	北九州市小倉北区熊本1-12-25
	☎802-0044 ☎(093) 921-2771
熊本サービスステーション	熊本市健軍本町29-3
	☎862-0910 ☎(096) 368-4161
大分サービスステーション	大分市萩原2-9-18
	☎870-0921 ☎(097) 553-3207
宮崎サービスステーション	宮崎市旭1-6-30(サニービル2F)
	☎880-0803 ☎(0985) 26-1161
鹿児島サービスステーション	鹿児島市下荒田2-20-1
	☎890-0056 ☎(099) 251-6347
沖縄サービスステーション	宜野湾市宇地泊89
	☎901-2227 ☎(098) 898-2255

(上記サービスセンター及び各営業所の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。)

お客様相談室 (東京)	東京都目黒区青葉台3-17-9
	☎153-0042 ☎(03) 3477-5335
お客様相談室 (大阪)	大阪市都島区東野田町1-20-5 (大阪京橋第一生命ビル)
	☎534-0024 ☎(06) 6357-5335

お手入れについて

表面が汚れたときは

やわらかい布で軽くふきます。

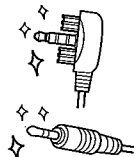
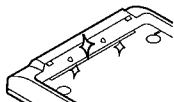
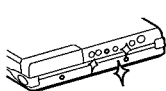
汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



接続端子やプラグをきれいに

本体や充電スタンド、乾電池ケースの接続端子やプラグが汚れていると接触不良の原因となります。定期的に綿棒で空拭きしてください。

(水やアルコールは絶対に使わないでください。)



ご注意



- 薬品類(ベンジン・シンナーなど)は使わないでください。変質・変色することがあります。
- 油をささないでください。故障の原因となります。

ENGLISH OPERATION MANUAL

INTRODUCTION

Thank you for purchasing this KENWOOD product.

To obtain the best performance from this product, please read this manual carefully. It will guide you in operating your KENWOOD product.


ACCESSORIES (page 12)


- Remote Control Unit x 1
- AC Adaptor x 1
- Connecting Cable x 1
- Rechargeable Battery x 1
- Battery Case x 1
- Battery Charger x 1
- Carrying Case x 1
- Handstrap x 1
- Headphones x 1
- Operation Manual x 1
- Warranty x 1

POWER SOURCE

■ Rechargeable battery power (page 18)

Charge the rechargeable battery according to the following procedure.

1. Open the battery compartment cover.
2. Insert the arrow end of the battery first, and then close the battery compartment cover.
3. Plug the AC adaptor into an AC outlet (AC 100V) and plug the other end into the DC IN 5V jack on the battery charger.
4. Place the main unit on the battery charger with its top upward.
5. About 4 seconds later, "" will flash, and battery charging will start.

- Battery charging will be complete in about 4 hours. When the charging is complete, "" will go out.

Notes:

- You can also charge the battery by connecting the AC adaptor directly to the main unit (DC IN 5V jack).
- (Battery charging will be complete in about 3 hours.)
- Use only the specified rechargeable battery.
- Continuous playback: Approx. 14.5 hours (Fully charged, volume level : VOL 15)
- Continuous recording: Approx. 9.5 hours (Fully charged, analog input, volume level: VOL 0)

■ AC adaptor (page 20)

Connect the AC adaptor cord to the DC IN 5V jack on the main unit, and plug it into an AC outlet (AC 100V).

- If the rechargeable battery is in the unit, it will be charged, even while operating the unit. (Float charge)

■ Alkaline battery power with a rechargeable battery (page 21)

1. Make sure that a rechargeable battery is inserted.
 2. Open the cover of the battery case supplied with the unit.
 3. Insert an "AA" size battery (LR6) into the battery case by matching its plus and minus terminals with the markings inside the battery case, and then close the cover of the battery case.
 4. Align the protuberance on the battery case with the indentation in the side of the unit.
 5. Turn the fixing screw on the battery case toward "LOCK", and then check that the battery case does not move.
- Do not insert a rechargeable battery (such as a nickel-cadmium rechargeable battery) into the battery case.
 - Do not replace either the battery or the rechargeable battery with a new one while operating the unit.

RECORDING ON A MINIDISC

■ Insert a MiniDisc (page 22)

1. Move the **[OPEN]** knob in the direction shown by the arrow to open the disc holder.
2. Insert the arrow end of the MiniDisc first, while pushing the center of the MiniDisc.
3. Close the disc holder.

■ Type of recording (page 23)

(1) Synchronous recording

Detects sound from an external unit connected to this unit and automatically starts or pauses the recording.

(2) Manual recording

Allows you to record or pause without regard to the sound in the signal.

Notes:

- This unit has a built-in sampling rate converter so that the recording from other equipment (DAT deck, BS tuner, etc.) which has a different sampling frequency is still possible.
- When a recording is made using microphones, it will be an analog recording.
- This unit has a device which keeps additional copies of digital recordings from being made from MiniDiscs which were originally recorded in digital. This limit is based on the standards developed by the SCMS (Serial Copy Management System).
- Insert the plug firmly. If not, recording cannot be performed properly.

Two types of recording are possible: "Digital recording" and "Analog recording". The cables needed for each type of hookup are different, depending on the jacks on the equipment being connected.

(1) Digital recording connection:

Connect the unit to equipment with an optical output jack using a digital cable (available separately). Using an optical digital signal to transfer the music allows very high quality recording. A track number is automatically assigned to each track of music from the sound source.

- Main equipment: CS/BS tuner, CD/MD player, digital amplifier, etc.
- Cable required: Digital cable (OPC-300 or OPC-500, available separately)

(2) Analog recording connection:

Connect the unit to equipment with a line output jack, using the cable that came with the unit.

- Main equipment: CD player, MD player, radio cassette player, etc.
- Cable required: Cable included with this unit

■ Connecting method (pages 24,26)

- Connect the output jacks from other equipment to the OPTICAL/LINE IN jack on the unit using the appropriate cables for each connection.
- To connect a microphone, plug it into the MIC IN jack on the main unit.

Note:

If you want to use a microphone, be sure it is a plug-in-power type microphone.

- When a plug-in-power type microphone is plugged in, the main unit will provide power for the microphone's operation.
- If a different type of microphone is plugged in, it may not operate properly or it may cause the unit to malfunction.

ENGLISH OPERATION MANUAL (Continued)

■ To record from an external unit (page 25)

1. Connect an external unit to this unit.
2. Insert a recordable MiniDisc.
3. Press the **[REC]** button.
4. To adjust the recording level, start playback from the equipment which will provide the signal to be recorded, and press the **[◀▶]** or **[▶▶]** button.
 - Refer to the display, and adjust the recording level so that the volume meter has a maximum swing between -4 and 0 dB.
 - While recording digitally, the recording level can be adjusted just like the analog recording.
5. After adjusting the recording level, put the equipment connected to the unit in the playback stand-by mode.

[Synchronous recording]

6. Press the **[ENTER]** button.
 - The recording may not start or pause at the correct position depending on the playback signals. If this happens, do the recording manually.
7. Start playback from the equipment connected to this unit.
 - The recording will start automatically.

[Manual recording]

- Perform steps 1 - 5.
6. To start the recording, press the **[▶/II]** button.
Start playback from the equipment connected to this unit.

■ To record from a microphone (page 27)

1. Connect a microphone to this unit.
2. Insert a recordable MiniDisc.
3. Press the **[REC]** button.
4. To adjust the recording level, press the **[◀▶]** or **[▶▶]** button while the microphone picks up the sound.
 - Refer to the display, and adjust the recording level so that the volume meter has a maximum swing between -4 and 0 dB.

[Synchronous recording]

5. Then adjust the synchronous level by pressing the **[ENTER]** button.
 - In this mode, the recording will be started and paused automatically, according to the sound that is detected from the source. This mode is convenient for recording meetings or lectures.
 - "MIC SYNC H" and "MIC SYNC L" will appear mutually on the display. To record the lower sound (meetings etc.), select "MIC SYNC H".
To record the louder sound (concerts etc.), select "MIC SYNC L".
6. As soon as a sound is detected, the recording will start automatically.

[Manual recording]

- Perform steps 1 - 4.
5. To start the recording, press the **[▶/II]** button.

■ To interrupt the recording

[Synchronous recording]

- When the connected equipment is stopped, the unit will be paused in the synchronous recording mode. If the connected equipment restarts playback, it will follow the unit to restart recording.
- If no sound from equipment or microphone is detected for 3 seconds or more, the recording will be paused automatically.

[Manual recording]

- Press the **[▶/II]** button during recording.
The unit will enter the recording stand-by mode.
- To resume recording, press the **[▶/II]** button again.

■ To stop the recording

Press the **[■/OFF]** button.

■ To turn off the power

Press the **[■/OFF]** button while in the stop mode.

- TOC will be written, and the unit will turn off.
- While "TOC EDIT!" is being displayed, do not jar the unit. If you do, the TOC cannot be written correctly on the disc.

■ If you want to make a long recording (monaural mode) (page 29)

The unit is in the standard recording (stereo) mode by nature. However, by switching to the "monaural double length recording mode", you can record for twice as long as the time listed on the MiniDisc. This mode is convenient for recording meetings or lectures.

Press the **[MODE]** button to make "MONO" (monaural recording or monaural fade-in recording) appear on the display while the recording is paused.

- When a recording in the monaural double length recording mode is stopped, the unit will resume recording in the stereo mode.

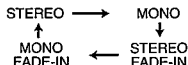
■ Checking the remaining recordable time (page 29)

Press the **[DISPLAY]** button while recording or while the recording is paused.

- The remaining recordable time will be displayed.
- To make the initial display appear, press the **[DISPLAY]** button again.

■ To start fade-in recording (page 30)

1. While in the recording stand-by mode, press the **[MODE]** button repeatedly.

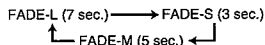


2. After selecting "FADE-IN", press the **[III]** button. Fade-in recording will start.

If you start recording after pressing the **[ENTER]** button, the fade-in recording will not be made.

- To change the fading time, press the **[BASS]** button while in the recording stand-by mode.

Each time the **[BASS]** button is pressed, the time can be switched.



■ To stop recording by fading out (page 31)

While recording, press the **[MODE]** button. The recording will be paused by fading out.

The sound will automatically fade out at the end of the MiniDisc so that it will not stop suddenly. To cancel this function, perform the following steps:

1. While recording or in the recording stand-by mode, press the **[MODE]** button for 2 seconds or more.
2. Each time the **[MODE]** button is pressed, the setting will be switched.

■ Recording without creating track numbers (page 33)

1. Each time the **[EDIT]** button is pressed while in the recording stand-by mode or while recording, "MARK OFF" and "AUTO MARK" will be displayed in turn.
2. Select "MARK OFF".

To resume creating track numbers automatically:

Press the **[EDIT]** button to select "AUTO MARK".

■ Creating your own track number while recording (page 33)

Press the **[REC]** button once at the point where you want to create a track number.

■ To mark while recording from a microphone (page 35)

You can mark the recording at regular intervals to be able to locate the beginning of any section.

Press the **[EDIT]** button while recording or while the recording is paused from a microphone.

- Each time this button is pressed, the display will change as "5 min MARK", "3 min MARK", "MARK OFF" and "10 min MARK" in order.

■ To start recording in the middle of a previously recorded section (page 36)

1. During playback, press the **[▶/II]** button at the point where you want to record a new track over an old track.

2. Press the **[REC]** button.

- To cancel the operation, press the **[■/OFF]** button.

3. Press the **[ENTER]** button.

- At this time, all of the old tracks and track names recorded after the point where the new recording is started will be erased.

4. Press the **[▶/II]** button.

- Recording will start.

MINIDISC PLAYBACK

■ Normal playback (page 38)

1. Plug in the remote control and headphones.

- Insert the plug fully.

2. Insert a MiniDisc.

- (1) Move the **[OPEN]** knob in the direction shown by the arrow to open the disc holder.

- (2) Insert the arrow end of the MiniDisc first, while pushing the center of the MiniDisc.

- (3) Close the disc holder.

3. Press the **[▶/II]** button.

- When a playback-only MiniDisc or a MiniDisc which is protected against accidental erasure is inserted, playback will begin automatically.

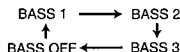
- When the "AUTO-PLAY" function works by inserting a MiniDisc, be careful not to forget turning off the power.

4. Adjust the volume by pressing the **[VOLUME ▲]** or **[VOLUME ▼]** button.

- To adjust the volume using the remote control, move the shuttle switch up to increase the volume. Move it down to reduce the volume.

5. Press the **[BASS]** button to adjust the bass or press the **[SOUND]** button on the remote control to increase the bass.

- Each time this button is pressed, the display will change as follows:



To stop playback:

Press the **[■/OFF]** button.

To turn off the power:

Press the **[■/OFF]** button while the unit is in the stop mode.

- About 2 minutes after playback has stopped, the power to the unit will be turned off automatically.

■ Track search (page 41)

You can locate the beginning of any track automatically by using the track search function.

To move to the beginning of the next track:

During playback, press the **[▶▶]** button or move the shuttle switch on the right of the remote control up.

To restart the track currently being played:

During playback, press the **[◀◀]** button or move the shuttle switch on the right of the remote control down.

- While in the stop mode, press the **[◀◀]** or **[▶▶]** button or move the shuttle switch on the right of the remote control up or down to select a track number or a track name. Press the **[▶/II]** button to play the selected track.

■ Cue and Review (page 41)

1. Insert a MiniDisc and begin playback.
2. When the **[▶▶]** button is held down or the shuttle switch on the right of the remote control is kept moving up during playback, the MiniDisc will be fast forwarded.
3. When the **[◀◀]** button is held down or the shuttle switch on the right of the remote control is kept moving down, the MiniDisc will be fast reversed.
4. When you release the **[◀◀]** or **[▶▶]** button or the shuttle switch on the right of the remote control, normal play will resume.

Note:

- When a cue or review operation is performed while in the pause mode, you can find the desired track more quickly. However, no sound will be heard. The unit will reenter the pause mode at the scan position where you release your finger.

■ Random/repeat playback (page 42)

During playback, press the **[MODE]** button repeatedly or press the **[PLAY MODE]** button on the remote control repeatedly until "RANDOM", "**◀**RANDOM" (repetition of random playback), "**◀**" (repetition of all tracks) or "**1◀**" (repetition of a single track) is displayed.

- When you select "RANDOM", after the track you are listening to has finished playing back, all of the tracks will be played back once in random order, and then the unit will automatically stop.
- When you select "**◀** RANDOM", all of the tracks will be played back in random order, and the random playback will continue endlessly.

To cancel random/repeat playback:

Press the **[MODE]** button repeatedly or press the **[PLAY MODE]** button on the remote control repeatedly to turn off "RANDOM", "**◀**RANDOM", "**◀**" or "**1◀**".

■ Double-speed playback (page 43)

During playback of a MiniDisc which is recorded in the monaural (double length) mode, press the **[ENTER]** button.

- To return to normal-speed playback, press the **[ENTER]** button again.
- Depending on the recorded materials, the sound may not be clear to listen.

To interrupt double-speed playback:

Press the **[▶/II]** button during playback.

- To resume double-speed playback, press the **[▶/II]** button again.

ENGLISH OPERATION MANUAL (Continued)

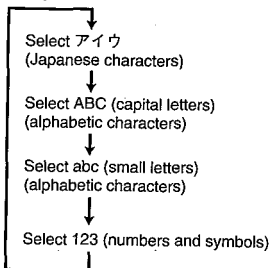
EDITING RECORDED MINIDISCS

Playback-only MiniDiscs cannot be edited.

■ Disc/track name (pages 44 - 48)

To create a name for a recordable disc:

1. While in the stop mode, press the **[EDIT]** button repeatedly to make "DISC NAME" appear on the display.
2. Press the **[ENTER]** button.
 - To cancel the operation, press the **[OFF]** button.
3. Press the **[DISPLAY]** button to select the type of characters.
 - When the type of characters is selected, the first three letters of that type will be displayed for about 1 second.
 - Every time the **[DISPLAY]** button is pressed, the type of characters will be changed as follows.



4. Press the **[◀]** or **[▶]** button to select the first letter.
5. When the letter you want is displayed, press the **[ENTER]** button.
 - To add a letter
Press the **[VOLUME ▲]** or **[VOLUME ▼]** button to select the letter which is on the right of the position where you want to add a letter. Enter the letter you want to add, and press the **[ENTER]** button.
 - To erase a letter
Press the **[VOLUME ▲]** or **[VOLUME ▼]** button to highlight the letter to be erased, and then press the **[BASS]** button.

6. To enter letters continuously, repeat steps 3 - 5.
7. After completely entering the track name, press the **[EDIT]** button.

To create a track name for a recorded track:

1. Play back the track which you want to name, and then press the **[▶/II]** button.
 - The unit will enter the pause mode.
2. Press the **[EDIT]** button repeatedly to make "TRACK NAME" appear on the display.
3. Press the **[ENTER]** button.
4. Then follow the procedure in steps 3-7 of the section "To create a name for a recordable disc".

■ Move (page 49)

This function is used to change the order of tracks and to listen to tracks in the order that you prefer.

1. Play back the track to be moved, and press the **[▶/II]** button.
 - The unit will enter the pause mode.
 - While in the stop mode, press the **[◀]** or **[▶]** button to select a track.
2. Press the **[EDIT]** button repeatedly to make "MOVE" appear on the display.
3. Press the **[ENTER]** button.
 - To cancel the operation, press the **[OFF]** button.
4. Press the **[◀]** or **[▶]** button to select the direction.
 - To increase the track number...press the **[▶]** button.
 - To decrease the track number...press the **[◀]** button.
5. Press the **[ENTER]** button again.
 - The selected track will be moved to the new location.

■ Erase (pages 50 - 51)

- Recorded tracks can be erased one at a time or all at once.
- Once a track has been erased, it cannot be recovered. Check the track number carefully before erasing.

To erase tracks one at a time:

1. During playback of the track to be erased, press the **[▶/II]** button.
 - While in the stop mode, press the **[◀◀]** or **[▶▶]** button to select a track.
2. Press the **[EDIT]** button repeatedly to make "ERASE" appear on the display.
3. Press the **[ENTER]** button.
 - To cancel the operation, press the **[■/OFF]** button.
4. Press the **[ENTER]** button again.
 - The selected track will be erased.

To erase all of the tracks at once:

1. While in the stop or pause mode, press the **[EDIT]** button repeatedly to make "ALL ERASE" appear on the display.
2. Press the **[ENTER]** button.
 - To cancel the operation, press the **[■/OFF]** button.
3. Press the **[ENTER]** button again.
 - All of the tracks will be erased.

■ Divide (page 52)

If you create track numbers at the points where you want to divide the recording, you can locate certain points wherever you like.

1. Play back the track which you want to divide into two, and press the **[▶/II]** button at the point where you want to divide the track.
2. Press the **[EDIT]** button repeatedly to make "DIVIDE" appear on the display.
3. Press the **[ENTER]** button.
 - To cancel the operation, press the **[■/OFF]** button.
4. Press the **[ENTER]** button again.
 - The original recording will be divided into the two new tracks.

■ Combine (page 53)

Two adjacent tracks can be combined (for example, the fifth and sixth tracks).

1. Play back the second of the two tracks which you want to combine, and press the **[▶/II]** button.
 - While in the stop mode, press the **[◀◀]** or **[▶▶]** button to select a track.
2. Press the **[EDIT]** button repeatedly to make "COMBINE" appear on the display.
3. Press the **[ENTER]** button.
 - To cancel the operation, press the **[■/OFF]** button.
4. Press the **[ENTER]** button again.
 - The two tracks will be combined.

ENGLISH OPERATION MANUAL (Continued)

■ Name stamp function (pages 54 - 55)

The whole data written in characters on a MiniDisc which contains tracks and data recorded previously (a master MiniDisc) is able to be sent to a recordable MiniDisc (a MiniDisc copy).

1. Complete a recording from a master MiniDisc to a MiniDisc copy.

- Only sounds are recorded. At this point, the data written in characters has not been recorded yet.

2. After finishing recording, remove the MiniDisc copy from the unit and insert the master MiniDisc to the unit.

- Check the differences between the master MiniDisc and the MiniDisc copy.

3. Press the **[EDIT]** button repeatedly to make "NAME STAMP" appear on the display.

4. Press the **[ENTER]** button.

- "READ OK?" will be displayed.

- To cancel the operation, press the **[ZOFF]** button.

5. Press the **[ENTER]** button again.

- "Reading!" will be displayed.

6. Make sure that "CHANGE MD" appears on the display, and then remove the master MiniDisc from the unit.

7. Insert the MiniDisc copy to the unit.

- The display will show "INSERT MD", "TOC READ" and "WRITE OK?" in order.

8. Press the **[ENTER]** button again.

- The display will change from "Writing!" to "COMPLETE" and the NAME STAMP function will be completed. And then the unit will enter the stop mode.

Notes:

- The playback-only MiniDiscs can not stamp the data written in characters.
- If the total number of tracks is not the same between the master MiniDisc and the MiniDisc copy, "Can't STAMP" will appear on the display and the unit will turn off. If this occurs, edit to make the track numbers on both discs agree, and retry from step 2.

OTHER USEFUL FUNCTIONS

■ Service life of the battery (page 56)

While the unit is being operated, the battery charge indicator will appear in the display.

As the battery charge drops from use, the bars in the charge indicator will go out one by one.

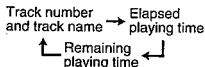
When the battery is almost completely exhausted, the battery charge indicator itself will flash.

When the battery has run completely out, "BATT EMPTY (Lo BATT)" will appear in the display. The power to the unit will be disconnected automatically.

■ To check the elapsed playing time and the remaining playing time (page 58)

Press the **[DISPLAY]** button during playback.

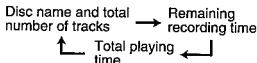
- Each time this button is pressed, the display will change as follows;



■ To display the remaining recording time and the total playing time (page 58)

Press the **[DISPLAY]** button while in the stop mode.

- Each time this button is pressed, the display will change as follows;



Notes:

- This unit can display katakana characters which conform to the MD standard specifications. If a nonstandard disc is played back, katakana characters may not be displayed.

■ To check the playing time of each track (page 58)

1. When stopped, press the **◀◀** or **▶▶** button to select a track.

- The track number and track name of the selected track will be displayed.

2. Press the **DISPLAY** button.

- The playing time of the track will be displayed.

Note:

- After displaying the playing time at step 2, just select the track number to display its playing time.

■ Various setup parameters (page 60)

You are able to set up 5 parameters with the unit (beep sound, display backlight on the remote control, auto play function, auto power save function, and digital recording level mode).

To set up parameters:

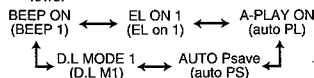
1. When stopped, hold down the **MODE** button or press the **PLAY MODE** button on the remote control and hold it until "SET UP" is displayed.

Then, release the **MODE** button or the **PLAY MODE** button.

- "BEEP ON (BEEP 1)" or "BEEP OFF (BEEP 0)" will be displayed.

2. Press the **◀◀** or **▶▶** button, or move the shuttle switch on the right of the remote control up and down, to select the parameter you want to change.

- Each time the **◀◀** or **▶▶** button is pressed, the display will change as follows:



3. Press the **MODE** button or press the **PLAY MODE** button on the remote control to select the parameter you want to change.

	ON	OFF
Beep sound	BEEP ON (BEEP 1)	BEEP OFF (BEEP 0)
Display backlight on the remote control	EL ON 1 (EL on 1) EL ON 2 (EL on 2)	EL OFF (EL off)
Auto play	A-PLAY ON (auto PL)	A-PLAY OFF (PL off)
Auto power save	AUTO Psave (auto PS)	Psave OFF (PS off)
Digital recording level	D.L MODE1 (D.L M1)	D.L MODE2 (D.L M2)

To finish the setup:

Press the **■/OFF** button.

Notes:

- When the unit is set to "EL ON 2", while it is being used with an AC adaptor or a car adaptor, the backlight will remain lit constantly.
- When you set the auto power save function to "A-PLAY ON", the battery time will be reduced slightly.

■ Hold function (page 64)

Even if the buttons are pressed accidentally (in a crowded train etc.), if the hold function has been set on the unit or on the remote control, the unit will not respond correctly.

To set the unit in to eliminate malfunctions, move the **HOLD** switch.

- To resume the operation, return the **HOLD** switch to its original position.

■ After completing the edit operation

To write the TOC (Table of Contents: information like track numbers etc.) on a disc, press the **■/OFF** button while in the stop mode.

- "TOC EDIT!" will be displayed, and the power will be turned off.
- While "TOC EDIT!" is being displayed, do not jar the unit. If you do, the TOC cannot be written correctly on the disc.

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。

お客様相談室

(東京) 電話(03) 3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9

(大阪) 電話(06) 6357-5335 〒534-0024 大阪市都島区東野田町1-20-5

(大阪京橋第一生命ビル)

- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または最寄りのサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。
- この取扱説明書は、再生紙を使用しています。